

# 第2期宮前区区民会議

(平成20年5月～平成22年3月)

## 総括報告書



平成22年3月

宮前区区民会議  
宮前区役所



## つながり・結ばれ・ひろがる 人の輪

### ～ みんなで取り組むコミュニティ豊かなまちへ ～

区民会議は「川崎市自治基本条例」と「川崎市区民会議条例」に基づいて、参加と協働による地域課題の解決を目的に、区の課題を把握し調査・審議してその解決策を提案するという、各区に設置された区民による会議です。

平成 18 年に第 1 期の区民会議が始まり、平成 20 年から始まった第 2 期もこの 3 月末で終了します。この 2 年間の総括を「第 2 期宮前区区民会議総括報告書」としてまとめました。

第 1 期区民会議では『実行可能な提案』を意識して、「高齢者福祉」「子育て支援」「地域防災」「地域コミュニティ」の 4 つの分野から 16 の課題を取り上げ、23 項目の課題解決提案を行いました。その課題解決へ向けての具体的な取り組み活動の状況は、第 6 章に載せてあります。少しずつですが着実に拡がりを見せ、成果を上げています。

第 2 期では、第 1 期から継続審議の申し送りがなされた「明日のコミュニティづくり」を大きなテーマとして掲げ、様々な活動をつなぐ場としての「公園」と地域おこしの核としての「宮前区の宝探し」を個別テーマとして審議しました。その際には、『区民みんなで取り組める解決策』を意識して、調査・審議を行い、合計 5 つの解決策の提案につなげました。また、提案で終わるのではなく、解決への取組自体がコミュニティづくりにつながるような提案を目指し、また実行性を確保する為に取組の担い手をイメージして解決策の提案を行いました。

提案の実現に向けて、区民会議では取組の担い手への橋渡し案まで提案しました。今後関係する諸団体や区民に呼びかけて実行に移すための検討委員会や実行委員会を設け、取組の詳細な計画・手法がつくられます。

普段宮前区の資源や地域の活動に触れることの少ない区民や、子どもから若い世代、シニアの世代まで、幅広い人々の参加を得ながら実現できるような工夫が期待されます。

区民会議が発足して 4 年が経過しましたが、まだまだその認知度は低いと言わざるをえません。区民会議の取組を多くの人々に知っていただくことが必要です。あらゆる機会を捉えて広報をするとともに、区民の声を拾い集める仕組みも今後の課題です。同時に区民会議提案の実行にあたって、多くの区民の方々に参加していただくことが最も効果があるのではないかと思います。

様々な暮らしの場にいる人々、幅広い世代の人々、多様な分野で活動しているグループの人々などが“つながり・結ばれ・ひろがる”ことによって、住み良い、～コミュニティ豊かなまち～宮前区になっていくことを願っています。

平成 22 年 3 月

第 2 期宮前区区民会議委員長 永野 勝

## 「人が好き 緑が好き まちが好き」

### ～ 第 2 期の提案と区のキャッチフレーズ ～

川崎市自治基本条例と川崎市市民会議条例に基づき、暮らしやすい地域社会の形成のための中心的施策としてスタートした区民会議も早 4 年が経過し、第 2 期宮前区区民会議の活動もこの 3 月末で任期終了を迎えます。

第 2 期の区民会議では、第 1 期区民会議においてなされた、分野別に課題を議論し解決策を提案するという方式を発展させ、「地域コミュニティの活性化」に焦点をあてて議論を行ってきました。様々な分野の課題について個別に考えるのではなく、各課題に共通する背景でもあり、かつ課題解決に向けた背骨となる「地域コミュニティ」そのものに、分野横断的な視点をもってアプローチするというスタイルは非常に興味深く、有効な方策になるのではないかと感じています。

多岐にわたる課題をつなぎ、地域コミュニティを活性化していく手段として、第 2 期では「公園」と「地域資源」を選定し、20 名の委員と参与である市議会議員、県議会議員と区役所が一堂に会し議論を行ってきました。約 2 年間にわたり重ねられた議論の末、公園の魅力アピールや利用促進に向けた提案、宮前区らしい冒険あそび場づくり、公園・緑地管理運営協議会のサポート、宮前区のカルタづくりといった 5 つの提案をいただきました。

これらの提案は、区民主体で取り組むことができるという点、幅広い世代が楽しみながら参加することができるという点が特徴的です。

今後、提案の実現に向けて区役所も積極的に支援を行ってまいります。宮前区で共に暮らす区民のみなさんにとっても、冒険あそび場づくりで遊びを‘創る’ことや郷土カルタにまちの魅力を織り込むことはきっと面白い作業であり、コミュニティづくりを楽しんでもらう良い機会になるのではと思っています。幅広い世代から多くの区民が参加してくれることを区役所としても期待しております。

これらの提案を通じて、宮前区で暮らす誰もが「公園」に親しみ、「地域資源」に触れ、まちの魅力を再発見することができれば、公園と地域資源を中心に地域コミュニティは活性化されていきます。区民会議からの提案に宮前区全体で取り組み、区のキャッチフレーズ「人が好き 緑が好き まちが好き」が体現されていくと確信しています。

最後に、2 年間という長期間に渡り、積極的に調査審議を重ねられた委員のみなさまの御尽力と参与のみなさまの御協力に感謝を申し上げます。

平成 22 年 3 月

宮前区長 松下 孝則

# 目 次

<b>第1章：第2期の成果～みんなで取り組むコミュニティ豊かなまちへ～</b>	
1. 地域コミュニティの活性化に向けた提案をまとめました	2
2. 区民みんなで取り組むコミュニティづくりに向けて	3
3. 区民に向けた情報発信	3
<b>第2章：第2期宮前区区民会議の提案とこれからの取組</b>	4
<b>第3章：第2期のポイント</b>	6
<b>第4章：これまでの活動</b>	
1. 全体会と企画部会の開催経過	8
2. 専門部会の開催経過と審議状況	
1) 公園・地域づくり部会	9
2) 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会	10
<b>第5章：提案の詳細</b>	
1. 公園を活用した地域コミュニティの活性化に関する提案	11
2. 地域資源を活用した地域コミュニティの活性化に関する提案	18
<b>第6章：第1期提案への取組</b>	
1. 第1期宮前区区民会議からの提案一覧	24
2. 提案内容と提案に対する取組状況	
2-1) 高齢者福祉 (8提案)	25
2-2) 子育て支援 (9提案)	30
2-3) 地域コミュニティ (3提案)	34
2-4) 地域防災 (3提案)	36
<b>第7章：第3期以降に向けて</b>	
1. 地域課題の把握方法	38
2. 審議対象課題の優先順位付け、分野、規模、課題の数など	38
3. 区民会議（全体会）の会議運営	39
4. 専門部会の会議運営	39
5. 区民会議から提案された課題解決策の取組と進行管理	40
6. その他	40
<b>資料編</b>	41

# 第1章：第2期の成果 ～みんなで取り組むコミュニティ豊かなまちへ～

第2期(平成20年5月～平成22年3月)

## 1. 地域コミュニティの活性化に向けた提案をまとめました。

### 第2期宮前区区民会議提案

#### 提案1：公園を知ってもらおう!～公園内に掲示板などを設置～

公園内での多様な活動やイベントを広く区民にPRします。

#### 提案2：「冒険あそび場」をひろめよう！

子どもが自由・活発に遊ぶ場、次世代育成の場の形成を地域主体でひろめます。

#### 提案3：もっと公園を楽しもう～宮前区公園月間の設定

4・11月を“公園月間”とし、イベントの開催、地域への呼びかけをすすめます。

#### 提案4：公園・緑地管理運営協議会の活性化のための支援

公園の企画・運営、コミュニティ活性化の担い手となるための支援を行います。

#### 提案5：宮前区のカルタをつくろう！

地域の資源を発見・共有し、読み込んだ“みやまえカルタ”を作成します。

#### ■ 5つの提案をまとめた報告書を区長に提出

第2期宮前区区民会議では、2年間の審議のまとめとして、平成21年12月14日(月)、宮前区の地域コミュニティの活性化に向けた5つの提案を宮前区長に提出しました。

#### ■ 共通テーマは“明日のコミュニティづくり”

地域課題を解決していくためには、地域レベルでの顔の見える関係づくりが重要であるとの観点から、地域コミュニティの活性化による“明日のコミュニティづくり”を共通の大テーマとして掲げ、検討を進めてきました。



5つの提案をまとめた報告書を区長に提出

#### ■ 2つの部会を立ち上げて、具体的な取組を検討

地域の公園を地域の様々な活動・課題解決の場として活用していく取組を検討する「公園・地域づくり部会」と、地域の資源をコミュニティ活性化の核として捉え、地域で発見・共有・発信していく取組を検討する「宮前区の宝探し～ときめき再発見～部会」を設置し、それぞれで審議を進めた結果、まとめられた提案です。

提案の趣旨・目的、現状等は 第2章 4Pへ

## 2. 区民みんなで取り組むコミュニティづくりに向けて

### ■実現性と区民みんなが関わるプロセスを重視

第2期宮前区区民会議では、提案の実現性と、多様な世代や性別・趣向・背景などを持つ区民みんなが一緒になって関わることでできる取組のプロセスを重視しました。そしてこのプロセスこそがコミュニティづくりの核だと考えました。

提案に際しては任期である2年間でじっくりかけ、事例調査や関係活動団体へのヒアリング調査なども行いながら検討を進めてきました。

### ■年度末には参加型のフォーラムを開催

各年度末には参加型の区民会議フォーラムを開催しました。区民会議からの検討経過の発表だけでなく、地域の活動事例の発表や、ご参加いただいた区民の方々と共に審議テーマや提案の内容について意見を出し合うワークショップを実施しました。



平成20年度区民会議フォーラム

### ■より具体的な取組

こうして出来上がった今期の5つの提案は、提案後の取組実施の段階における体制や内容について、より具体的なものとなりました。

平成22年度からは、提案者である区民会議委員OBや提案検討の際に関わっていただいた関係団体、その他区内の関係市民活動団体を中心に、取組実施のための組織を立ち上げ、より多くの区民の参加を得ながら進めていきます。

これからの取組の詳細は 第2章 5Pへ

## 3. 区民に向けた情報発信

### ■区民会議だより

区民会議の検討の内容や結果・活動の成果をより多くの人に知ってもらうため、第1期から「みやまえ区民会議だより」を発行しています。区民会議全体会が開催されるごとに8,000部を発行し、町内会・自治会を通じて回覧しているほか、公共施設等で配布しています。(第2期では2年間で第6号～第13号を発行)

### ■出張・区民会議

より多くの区民に区民会議を身近に感じてもらうことを目指し、区役所以外の会場でも会議を開催しました。

平成20年度は第3回会議を向丘出張所で、平成21年度は第2回会議を開館したばかりのアリーノ（有馬・野川生涯学習支援施設）で開催し、それぞれの地域の区民に参加を呼びかけました。







アリーノ（有馬・野川生涯学習支援施設）でも開催

## 第2章：第2期宮前区区民会議の提案とこれからの取組

提案	趣旨・目的	現状等
----	-------	-----


### ■公園・地域づくり部会から生まれた提案

公園を地域コミュニティの場として活用していこう！

<p><b>提案①</b> 公園を知って もらおう！ ～公園内に掲示板などを設置～</p>	<p>公園内での様々な活動やイベントを広く知ってもらうことで、より多くの区民の参加、地域コミュニティの活性化を目指します。</p>	 <p>公園・緑地管理運営協議会、公園体操、自主保育など多様な活動が公園で展開されています。</p>
<p><b>提案②</b> 「冒険あそび場」 をひろめよう！</p>	<p>公園を活用した「冒険あそび場」（宮前区版プレイパーク）を地域主体で実施することで、次世代育成の場を確保します。</p>	 <p>プレイパークとは、見守り役のプレイリーダー（大人）の元で、子どもが自己の責任の元、自由な発想で遊ぶ場です。</p>
<p><b>提案③</b> もっと公園を 楽しもう！ ～宮前区公園月間の設定～</p>	<p>地域の住民にもっと公園に目を向けてもらうため、広報・呼びかけを展開します。</p>	 <p>公園は誰もが使えるオープンスペースですが、中には利用が少なかったり、利用マナーが問題となっている公園もあります。</p>
<p><b>提案④</b> 公園・緑地管理 運営協議会を サポートしよう！</p>	<p>公園・緑地管理運営協議会の活性化のための支援を行い、地域コミュニティの担い手としての認識、力を育みます。</p>	<p>区内62箇所で開催されている公園・緑地管理運営協議会には、管理運営だけでなく、コミュニティの担い手としての役割が期待されています。</p> 

### ■宮前区の宝探し～ときめき再発見～部会から生まれた提案

地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて、地域への誇りや愛着を育もう！

<p><b>提案⑤</b> 宮前区のカルタ をつくろう！</p>	<p>カルタの作成を通じて、幅広い世代が「地域資源」を発見、共有します。地域への愛着の涵養、コミュニティの活性化を図ります。</p>	 <p>宮前区第1地区社会福祉協議会が地域住民から読み唄を募集して作成した「野川ふるさとカルタ」がモデルケースです。</p>
--	--	---



## 実施内容（これからの取組）



## みんなで取り組む コミュニティづくり

①

### 活動内容をPRする掲示板的設置

管理運営協議会と行政との管理協定締結による設置

### 活動内容をPRするプレートの設置

活動団体と協議し、周辺環境と調和したプレート設置

②

### 宮前区冒険あそび場支援検討委員会

ルールや行政支援等の検討、モデル事例の実施推進

### 「出張・冒険あそび場」の実施

既存活動団体による体験機会の提供

③

### 4月と11月を”公園月間”に

桜や落葉の季節にイベント開催を呼びかけ

### 「みやまえ公園イベント情報」の発行

毎月発行し、町内会・自治会を通じて回覧

### 「みやまえぼーたろう」での情報発信

地域ポータルサイトからの情報発信

④

### 公園・緑地管理運営協議会の趣旨・役割等の掲示

趣旨をわかりやすく掲示することによる役割の周知

### 代表者会議や研修の場での啓蒙

コミュニティ担い手としての期待を発信

⑤

### みやまえカルタ制作実行委員会の設立

基本方針の策定、制作状況の進行管理・内容調整

### 各小学校の参加

総合的な学習の時間を活用した作成への参加働きかけ

### 地区別部会の設定、地区別カルタの作成

中学校区ごとに作成、フォーラムや大会の開催

### 区政30周年記念カルタの作成・記念大会の開催

地区版から全区版の選抜、大カルタ大会の開催

## 理想とする公園像

地域ニーズや  
実情に合わせて  
整備・配置された  
公園施設や遊具

地域の多様な世代が  
無理なく主体的に  
関わる運営

利用者による  
ルールづくり

地域の誰もが良い  
利用マナーのもとで集い、  
交流する場の形成

各項目の詳細は  
第5章 11Pへ

## 宝や顔がある まちのイメージ

自分たちの住む  
まちについて、  
区外の人に紹介する  
ことができる

地域に愛着を持っている

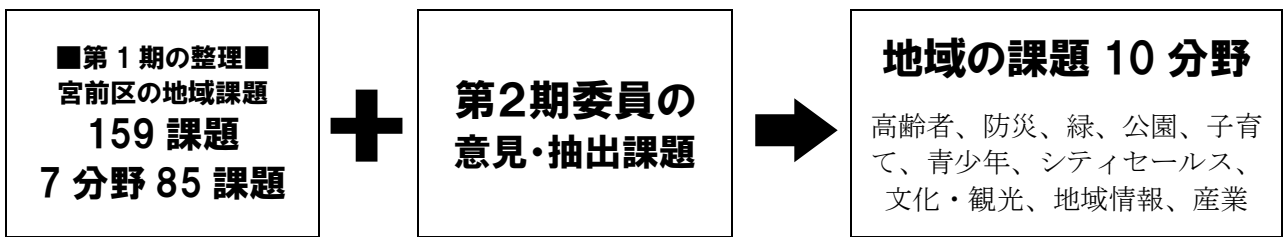
地域を大切に思い  
近隣との良好なコミュニ  
ケーションが図れている

# 第3章：第2期のポイント

## STEP1 地域課題の把握・整理 10分野の抽出

第1期で地域の活動や区役所の日常業務を通じて把握された宮前区の地域課題 159 課題とその分類・整理結果（7分野 85 課題）を引き継ぎ、第1期の提案やその取組経過なども踏まえ、第2期委員の新たな意見も取り入れながら、地域課題の分類整理を行いました。

その結果、「高齢者」「防災」「緑」「公園」「子育て」「青少年」「シティセールス」「文化・観光」「地域情報」「産業」の10分野が抽出されました。



## STEP2 共通大テーマ“明日のコミュニティづくり”の設定

第1期の「明日のコミュニティ部会」において、「分野別の地域課題は、つながり関連しあっていること」、またそれらを解決していくためには「地域レベルでの顔の見える関係づくりがまず重要であること」が指摘されました。

これを受け、第2期では共通の大テーマとして、「明日のコミュニティづくり」を設定し、地域課題に対して分野横断的、複合的なアプローチを図りました。

**第2期 共通大テーマ**  
**明日のコミュニティづくり**  
 世代交流・担い手育成  
 ネットワーク・地域活性化  
 なども包含

## STEP3 専門部会の立上げ

地域課題 10 分野のグルーピングを行い、それぞれ宮前区の「公園」と「顔・宝」を審議テーマとして選定し、以下の2 専門部会を立上げました。

**公園・地域づくり部会**では、「公園」を「高齢者」「緑」「防災」「青少年」「子育て」などの様々な活動や、地域の課題解決の場として活用していく取組の検討を進めました。

**宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会**では、宮前区の「宝」や「顔」となりうる地域の資源を地域おこしの核として捉え、「シティセールス」「文化・観光」「地域情報」「産業」などの課題を包含する「宮前区らしさ」として、地域で発見・共有・発信していく取組の検討を進めました。



図：第2期宮前区区民会議 審議テーマイメージ

## STEP4 現状調査や先進事例調査の実施

第2期では、任期である2年間をかけて、それぞれのテーマに関する審議を専門部会を中心にじっくりと進めました。テーマに関連した活動関係者を部会に招いたほか、現場視察による事例調査、アンケートなどによる現況調査を積極的に実施し、より実現性が高く、地域での担い手の確保、取組の実施につながる提案づくりを心がけました。

### 公園・地域づくり部会

#### ●事例調査

- ・ 鷲ヶ峰公園緑地運営管理協議会
- ・ つくし野公園あそび応援隊（町田市）
- ・ 宮前区こどもの遊び場を考える会 ポレポレ
- ・ 横浜市のプレイパークの運営制度  
（有志による現地視察）

#### ●現状調査

- ・ 区内の公園の現況調査（部会委員が近所の公園を自ら調査）
- ・ 公園でやってみたいこと、欲しい機能等のアンケート調査（イベント参加者や関係活動団体）



写真：地域活動の事例報告を受ける様子

### 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

#### ●事例調査

- ・ 野川ふるさとカルタ（宮前第1地区社会福祉協議会作成）
- ・ 上毛カルタ（群馬県文化協会作成）

#### ●現状調査

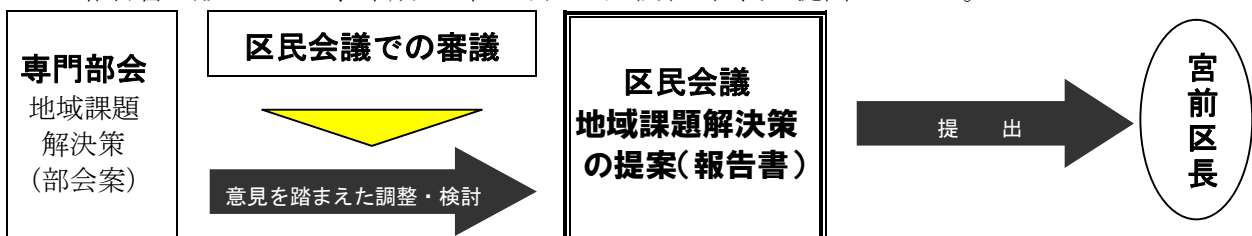
- ・ 地域資源情報の募集（募集チラシ、地域ポータルサイト「みやまえぽーたろう」による試験実施）



写真：野川ふるさとカルタのマップ

## STEP5 地域課題解決策の提案のまとめと提出

専門部会で検討された地域課題解決策（案）について、区民会議で審議した後、地域課題解決策の提案として報告書の形にまとめ、平成21年12月14日（月）に区長に提出しました。



## STEP6 取組実施に向けた動き

平成22年度からの取組実施に向け、協働推進事業による一部事業化の準備が既に進められています。第2期で任期を終え、区民会議OBとなる委員や関係団体に呼びかけ推進組織の核とするとともに、実際の取組実施の際には、地域に広く声をかけ区民みんなが参加する、地域一体となった取組を進めていく構想です。

## 第4章：これまでの活動

### 1. 全体会と企画部会の開催経過

#### 1) 全体会

合計8回の全体会を開催しました。

##### ■平成20年度

第1回	平成20年5月23日(金)
第2回	平成20年8月6日(水)
第3回	平成20年11月19日(水)
第4回	平成21年2月12日(木)

##### ■平成21年度

第1回	平成21年5月29日(金)
第2回	平成21年8月4日(火)
第3回	平成21年11月13日(金)
第4回	平成22年2月15日(月)

#### 【主な検討内容】

- 審議テーマの選定・専門部会の立ち上げ (H20年度第1回)
- 専門部会の審議結果報告・意見交換 (H20年度第2回～H21年度第3回)
  - ・ 部会からの報告を受け、地域課題の解決策について意見交換を行いました
- 区民会議からの提案に対する取組について (毎回)
  - ・ 第1期提案に対し区役所、地域の双方から進捗状況の報告を行い、意見交換しました
- 区民会議の進め方等について
  - ・ 区民会議フォーラムのプログラム、進め方等について検討しました (各年度第4回)
- その他報告など
  - ・ 宮前区協働推進事業等の評価について (各年度第2回)
  - ・ 宮前区協働推進事業計画(案)等について (各年度第3回)
  - ・ 宮前区協働推進事業予算(案)等について (各年度第4回)
  - ・ 平成20年度川崎市総合防災訓練について (H20年度第2回)
  - ・ カーボンチャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき)の取組について (H20年度第2回)
  - ・ 宮前区地域課題の解決を図る事業提案制度について (H21年度第1回)

#### 2) 企画部会

合計11回の企画部会を開催しました。

##### ■平成20年度

第1回	平成20年7月30日(水)
第2回	平成20年9月5日(金)
第3回	平成20年11月7日(金)
第4回	平成21年1月27日(火)
第5回	平成21年3月23日(月)

##### ■平成21年度

第1回	平成21年5月12日(火)
第2回	平成21年7月21日(火)
第3回	平成21年11月5日(木)
第4回	平成21年12月3日(火)
第5回	平成22年2月3日(水)
第6回	平成22年3月8日(月)

#### 【主な検討内容】

- 区民会議運営の企画・進行
  - ・ 区民会議に先立つ議事や資料の検討、専門部会の進行管理、区民会議フォーラムの企画 など
- 第2期区民会議の審議状況の取りまとめ
  - ・ 審議内容の総括、提案書や報告書の素案づくり など



## 2. 専門部会の開催経過と審議状況

### 1) 公園・地域づくり部会

#### ■審議テーマの設定・目指すべき方向性

宮前区内の公園を、「高齢者」「緑」「防災」「青少年」「子育て」などの様々な地域の課題を解決する場として捉え、「世代交流」や「居場所づくり」など、地域住民が集う地域コミュニティの拠点として活用していく取組を審議しました。



#### ■開催経過と議題

合計 13 回の部会を開催しました。

平成 20 年度 第 1 回	平成 20 年	6 月 16 日 (月)	15:00~17:00	出席委員 9 名	部会の審議テーマ意見交換、公園管理の現状説明 (行政担当者より)、部会名称
平成 20 年度 第 2 回	平成 20 年	7 月 7 日 (月)	15:00~17:00	出席委員 7 名	公園の現状と課題 (各委員からの報告を受けて)
平成 20 年度 第 3 回	平成 20 年	9 月 12 日 (金)	15:00~17:00	出席委員 8 名	公園・地域の現状、理想とする公園像、維持管理のあり方
平成 20 年度 第 4 回	平成 20 年	10 月 10 日 (金)	18:00~20:00	出席委員 6 名	公園での活動取組事例 (先進事例ヒアリング)
平成 20 年度 第 5 回	平成 20 年	10 月 27 日 (月)	18:00~20:00	出席委員 7 名	理想とする公園像、解決すべき課題
平成 20 年度 第 6 回	平成 20 年	12 月 9 日 (火)	18:00~20:00	出席委員 7 名	具体的な課題解決策 (維持管理・運営・魅力PRなど)
平成 20 年度 第 7 回	平成 21 年	1 月 20 日 (火)	18:00~20:00	出席委員 9 名	コミュニティのきっかけづくり、区民会議フォーラムの進め方
平成 20 年度 第 8 回	平成 21 年	3 月 5 日 (木)	18:00~20:00	出席委員 6 名	公園の魅力PR方法、区民会議フォーラムの進め方
平成 21 年度 第 1 回	平成 21 年	4 月 22 日 (水)	18:15~20:15	出席委員 6 名	掲示板の設置、公園に目を向けてもらうためのイベント
平成 21 年度 第 2 回	平成 21 年	6 月 23 日 (火)	18:15~20:20	出席委員 8 名	プレイパークの必要性、進め方、宮前区版プレイパークの提案
平成 21 年度 第 3 回	平成 21 年	7 月 28 日 (火)	18:15~20:20	出席委員 7 名	宮前区公園遊びの日の設定、宮前区版プレイパークの推進、維持管理の担い手・組織
平成 21 年度 第 4 回	平成 21 年	9 月 3 日 (木)	18:15~20:25	出席委員 6 名	宮前区版冒険あそび場、宮前区公園の日
平成 21 年度 第 5 回	平成 21 年	10 月 13 日 (火)	18:15~20:20	出席委員 8 名	提案のまとめ

## 2) 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

### ■審議テーマの設定・目指すべき方向性

宮前区の「宝」や「顔」となりうる地域の資源を地域おこしの核として捉え、「シティセールス」「文化・観光」「地域情報」「産業」などの課題を包含する「宮前区らしさ」として、地域で発見・共有・発信していくことで、地域コミュニティを醸成していく取組を審議しています。



### ■開催経過

合計 12 回の部会を開催しました。

平成 20 年度 第 1 回	平成 20 年	6 月 23 日 (月)	18:00~19:50	出席委員 8 名
<b>部会の審議テーマ意見交換、部会名称の決定</b>				

平成 20 年度 第 2 回	平成 20 年	7 月 15 日 (火)	18:00~19:50	出席委員 7 名
<b>宮前区の宝を探す目的、宮前区のイメージ、宮前区の現状の資源</b>				

平成 20 年度 第 3 回	平成 20 年	9 月 22 日 (月)	18:00~19:50	出席委員 9 名
<b>宝や顔があるまちのイメージ など</b>				

平成 20 年度 第 4 回	平成 20 年	10 月 24 日 (金)	18:00~19:50	出席委員 9 名
<b>資源の整理・大分類、楽しみ方の分類、資源・宝・顔のイメージ図、区民への投げかけなど</b>				

平成 20 年度 第 5 回	平成 20 年	12 月 16 日 (火)	18:00~20:00	出席委員 7 名
<b>資源の整理・大分類、区民への資源募集の呼びかけ方法 など</b>				

平成 20 年度 第 6 回	平成 21 年	1 月 24 日 (金)	18:00~19:50	出席委員 9 名
<b>区民からの資源募集のモデル実施について、区民会議フォーラムの進め方 など</b>				

平成 20 年度 第 7 回	平成 21 年	3 月 3 日 (火)	18:00~20:15	出席委員 7 名
<b>区民会議フォーラムの進め方、今後の進め方など</b>				

平成 21 年度 第 1 回	平成 21 年	4 月 13 日 (月)	18:00~20:10	出席委員 7 名
<b>今後の進め方、テーママップの作成、【事例】野川カルタ・映像コンクール</b>				

平成 21 年度 第 2 回	平成 21 年	6 月 15 日 (月)	18:00~20:10	出席委員 7 名
<b>マップづくりの手法や形式、カルタづくりの手法や形式、【事例】上毛カルタ</b>				

平成 21 年度 第 3 回	平成 21 年	7 月 9 日 (木)	18:00~20:10	出席委員 7 名
<b>区政 30 周年に向けたカルタ制作、教育現場での活用</b>				

平成 21 年度 第 4 回	平成 21 年	9 月 7 日 (月)	18:00~20:00	出席委員 9 名
<b>カルタづくりの手法や形式、総合的な学習の時間の活用</b>				

平成 21 年度 第 5 回	平成 21 年	10 月 16 日 (火)	18:00~19:15	出席委員 7 名
<b>提案のまとめ</b>				

## 第5章：提案の詳細

### 1. 公園を活用した地域コミュニティの活性化に関する提案

#### 1) 宮前区の公園の現状と取組

##### (1) 公園の有する機能

宮前区の公園に限ったことではありませんが、一般的に公園は、誰もが気軽に利用できる緑豊かなオープンスペースであり、レクリエーション・憩いの場といった機能に加え、防災拠点にもなるなど多様な機能を有しています。例えば、第1期の提案にあった公園体操などは、当初8箇所だったのが現在は30箇所以上に増え、高齢者の健康づくりと地域コミュニティの活性化に大きく寄与しています。

このように、公園は住民が集い交流することのできる地域コミュニティの拠点となりうる可能性を持っていると考えられます。

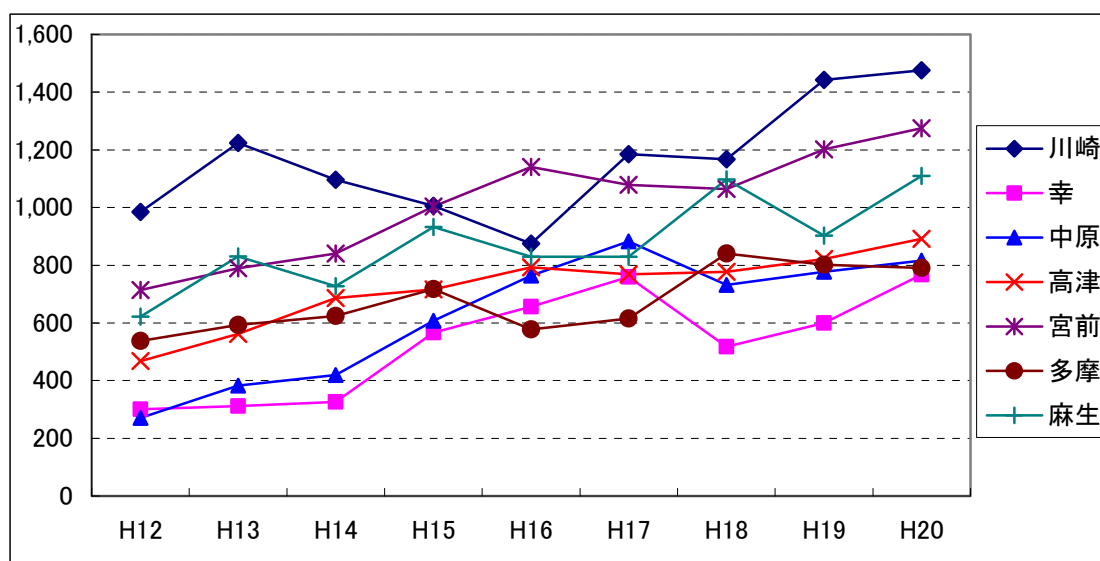
##### (2) 公園(都市公園・市営公園)の整備状況

平成21年3月現在の宮前区の公園の整備状況は次のとおりとなっています。川崎市全体では麻生区に次いで2番目に公園の多い区となっています。

区分	街区公園	近隣公園	その他	合計
公園数	176	6	14	196

##### (3) 増加する苦情

主に、増加する公園に見合う維持管理経費が十分に確保されなかったことなどが原因で、樹木の剪定や遊具やトイレ等の公園施設の故障などに関して、公園事務所に寄せられる苦情が増える傾向にあります。



このほか、ごみの不法投棄やペットの扱いのほか、青少年の夜のたまり場になってしまっている公園もあるなど、マナーや倫理上の問題もあり、せっかくの公園が迷惑施設になってしまっ

ている側面もあります。

#### (4) 地域が主体となった管理運営

川崎市緑の基本計画(平成20年3月改定)では、「協働により緑を守り育む持続可能な仕組みの構築」を基本方針の1つとして掲げています。

地域住民の身近な公園については、地域が主体となって管理・運営することが基本的な考え方とされ、それを具体化するものとして、公園・緑地管理運営協議会の制度が緑の基本計画の改定に先立ち、平成17年度からスタートしています。

この公園・緑地管理運営協議会は、身近な公園を地域のコミュニティ拠点としていくことを大きな目的として、これまでの愛護会が担っていた除草・清掃の役割に加え、中低木の剪定など、より高度な維持管理を地域で担うほか、公園の利用方法などの運営面においても、その調整機能を地域が担うことができるようになりました。

平成21年10月現在、宮前区では62箇所公園・緑地管理運営協議会が設立されています。

## 2) 解決すべき課題など

### (1) 理想とする公園像について

現在置かれている公園の状況と理想とする公園像とのギャップを明らかにし、課題解決によって目指す方向性をより明確にするため、理想とする公園像について意見交換し、イメージの共有を図りました。

#### ■ 望ましい施設…トイレ、ベンチ、看板など、地域のニーズや実情に合わせて

- 公園に必要な施設として、トイレ・ベンチ・看板・時計・遊具など、公園の立地、利用者の構成やニーズ、地域の実情に合わせた施設が配置されている。
- どのような施設が必要かを自分たちで検討できるしくみができている。

#### ■ 維持管理・運営のあり方

- 多様な世代が無理なく主体的に  
子どもから高齢者まで、地域の多様な世代が無理なく主体的に関われるしくみがある。
- 利用者が維持管理・ルールづくり  
利用者自らが、維持管理の方法や利用上のルールづくり、企画運営に関われるしくみがある。

#### ■ 公園の使い方(コミュニティ面)

- 多世代が利用し顔見知りの関係に  
子どもから高齢者まで、地域の多様な世代に利用され、公園での出会いを通して地域内でお互いが顔見知りの関係を築いている。
- 地域のイベント会場として  
お祭りや盆踊りを始め、地域の様々なイベント会場として公園が利用されることで、自然に地域住民が集まり交流する場となっている。



## (2) 解決すべき課題について

理想とする公園像と現状とのギャップを踏まえ、部会では、解決すべき課題を次のとおりとしました。

### ■ 課題①：維持管理について

- ・ 担い手の不足・固定化・高齢化

公園の維持管理活動に関わる人が少なく、また、現在関わっている人材も固定化、高齢化している現状があり、より多くの人に関わるしかけが必要である。

- ・ 公園・緑地管理運営協議会の存在・役割の周知・普及

区民会議としては、公園・緑地管理運営協議会の存在や役割が地域に広く知られていない現状があるのではと感じている。また、活動が清掃や樹木の剪定等の維持管理面にとどまっている団体が多く、要綱上含まれている公園の運営など地域のコミュニティづくりにまで至っている活動団体が少ないのではないかとされる。また、そうした活動が可能であることがあまり知られていない現状もあると思われ、公園・緑地管理運営協議会の存在や本来の役割を区民に周知・普及して、より主体的な活動を広げていくことが求められる。

### ■ 課題②：公園利用について

- ・ 利用層の偏り・固定化

公園を利用する人が限られている傾向があり、公園を地域コミュニティの拠点とするにはより多様な人が気軽に公園に集い利用することが大切である。

- ・ コミュニティ価値の情報発信不足

公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。公園を地域コミュニティの拠点として位置付けるために、公園の必要性やまちづくりにおける重要性について、もっとアピールしていくことが必要である。

- ・ 利用者マナー

一部の利用者に見られる公園の利用マナーの改善が求められる。公園の価値を地域で認識・共有し、公園に愛着を持つことが進めば、利用マナーが自然に改善されていくと考えられる。

## 3) 公園を活用した地域コミュニティの促進に関する具体的な解決策

### 提案①：公園を知ってもらおう！～公園内に掲示板などを設置～

#### 【趣旨・目的】

- ・ 公園では地域の色々な団体が主体となって、公園・緑地管理運営協議会の活動のほか、公園体操や自主保育など多様な活動を行っています。
- ・ こうした公園内での活動・イベントを広く知ってもらい、より多くの参加を促し、最終的には地域コミュニティが活性化することを目指します。

## 【実施方法/実施主体】

### ■ 活動内容をPRする掲示板的設置

- 日ごろの活動内容を恒常的に発信できるような掲示板的を団体からの申請に応じて、宮前区役所が公園管理者の許可を受けた上で設置します。
- 宮前区役所と団体とで管理協定を締結します。
- 設置の申請ができる団体は、公園で地域コミュニティに資する活動を継続的に行っているとともに、地域の利害関係の調整や掲示板的の管理・運営に責任を持ってあたれる団体が望ましいため、公園・緑地管理運営協議会に限定します。

### ■ 活動内容をPRするプレートの設置

- 公園・緑地管理運営協議会以外で、公園体操や自主保育など地域コミュニティの活性化に資する個別の活動を行なっている団体に対しては、掲示板的ではなく活動内容を記した見た目にも楽しいプラスチックのプレートなどを制作し、公園事務所の許可を受けた上でフェンス等に掲示できるようにします。
  - ※ 掲示板的やプレートを設置する際には、景観・美観を損ねることのないよう、周辺環境との調和に配慮することとします。
  - ※ 提案②の「冒険あそび場」の実施団体については、その支援のメニューとして「掲示板的の設置」を用意します。

## 【実施時期】

- 実施時期については、平成22年度からの実施が望ましいものとします。

## 提案②：「冒険あそび場」をひろめよう！

## 【趣旨・目的】

- 現代の子どもには、その成長にとって必要な**時間・空間・仲間**の「サンマ(3つの間)」がないといわれています。
- そこで、公園というオープンスペースを活用し、地域が主体となって「冒険あそび場」を実施することで、次世代育成の場の確保を目指します。
- また、「冒険あそび場」への地域住民の参加を促進し、本部会の趣旨である地域コミュニティの活性化も目指します。

## 《 冒険あそび場とは？ 》

部会では、従来のプレイパークの概念にとらわれず、宮前区らしいプレイパークを目指すことを企図して「冒険あそび場」という言葉を用いることとしました。

プレイパークと呼ばれる活動は、一般的には次のような内容となっていますが、地域の特性や実情に応じた活動内容としていく必要があります。

### 【概要】

#### ■冒険遊び場（プレイパーク）

「プレイリーダー」と呼ばれる見守り役の大人のもと、子どもたちが自由な発想で遊びを創り出し、やりたいことを実現する場です。

#### ■自分の責任で自由に遊ぶ

小さな怪我などのリスクを自分で負担することを前提とします。

**火を使う遊び・泥遊び・工具を使った遊具や秘密基地づくりなど**

### 【効果】

#### ■地域コミュニティの活性化

活動に地域の大人が関わることで、地域コミュニティの活性化につながります。

→特に若い父親世代の参加が期待できます。

#### ■次世代育成 ★宮前区は子ども(0～14歳)の数(32千人)・割合(15.3%)ともに7区最多

与えられた遊具だけでなく、思いきり遊べる外遊びの環境を確保します。

小さな怪我を経験することで、「**大きな怪我や危険から身を守る術**」を身につけます。

### 【実施内容】

- ・「冒険あそび場」の実施には、地域で利害の対立する可能性もあるため、「サンマ」に続く4つ目の「間」である世間（地域社会）に受け入れられるよう、宮前区の地域特性に合ったルールを策定する必要があります。
- ・しかし、区民会議として具体的なルールを作ることは難しく、実際に活動に携わる団体と行政とが協働でルール作りを行う必要があります。
- ・このため、平成22年度に「宮前区冒険あそび場支援検討委員会」を設け、「冒険あそび場」のルールや行政からの具体的な支援のあり方について検討を行います。
- ・ルール作りにおいて実際の活動の観点から検討するために、既存の団体や冒険あそび場に近い取組を行っている団体に、モデル団体として引き受けてもらうことを依頼します。
- ・このほか、冒険あそび場をもっと広げることを目的として、実施を希望する地域団体を対象に、既存の実施団体に依頼して「出張・冒険あそび場」を実施し、「冒険あそび場」が体験できる機会の確保を図ります。

### 【宮前区冒険あそび場支援検討委員会の概要】

- ・ 市民が行うプレイパーク活動を積極的に支援するためのルールや行政支援のあり方を、区役所・関係行政機関・既存活動団体・子育て支援団体・青少年育成関係者・公募市民等で検討します。各団体は、各々で適宜子どもの意見を吸い上げながら、検討に反映させるものとします。

〈委員会への参加を呼びかける団体〉

#### 既存活動団体

- ・ ポレポレ
- ・ グリーンフォーラム 21 みやまえ
- ・ 野川こ文プレイパーク(自主学童保育ささのはクラブ)

#### 子育て支援団体・青少年育成関係者

- ・ 地域で子育てを考えよう連絡会
- ・ 宮前区青少年指導員連絡協議会
- ・ 宮前区運動普及推進員連絡協議会
- ・ 宮前区民生委員・児童委員協議会
- ・ 宮前区子ども会連合会
- ・ ボーイスカウト、ガールスカウト
- ・ 宮前区地域教育会議

#### 宮前区全町内・自治会連合会

- ・ 公園・緑地管理運営協議会を組織している町内会・自治会から参加

#### 第2期区民会議委員(若干名)

宮前区役所(企画課、地域振興課、こども支援室、道路公園センター)

## 提案③：もっと公園を楽しもう～宮前区公園月間の設定～

### 【趣旨・目的】

- ・ 公園は誰もが気軽に使えるオープンスペースですが、中にはあまり使われていない公園もあります。
- ・ 公園を地域コミュニティの核としていくために、地域住民にもっと公園に目を向けてもらう必要があります。

### 【実施内容】

- ・ 毎年、桜の咲く4月と落葉の季節の11月を「宮前区公園月間」として、イベントなどの開催を地域に呼びかけます(イベントには、例えば落葉を使った染物など伝統文化を取り入れることも考えられます)。
- ・ 現在発行している「歳時記みやまえ」をモデルに、「みやまえ公園イベント情報」を毎月発行し、各町内会・自治会を通じ区内各世帯に回覧します。
- ・ 同時に、宮前区地域ポータルサイト「みやまえぼーたろう」でも公園でのイベント情報を発信します。
- ・ 「宮前区公園の日」の呼びかけは、区民会議委員が所属している各団体や、公園・緑地管理運営協議会や愛護会などに委員や区役所が直接行うほか、「みやまえ公園イベント情報」や「みやまえぼーたろう」上でも行います。

## 提案④：公園・緑地管理運営協議会をサポートしよう！

### 【趣旨・目的】

- 公園・緑地管理運営協議会は、維持管理だけでなく地域コミュニティの担い手としての役割も期待されています。
- しかしながら、実際には地域コミュニティの担い手としての意識はあまり強くなく（設立当初はそう認識されていたとしても、年数が経つと忘れられてしまう）、専ら維持管理を行う組織として認識されている傾向が見られるため、その役割を認知してもらう継続的な取組が必要です。

### 【実施内容】

- 現在、公園・緑地管理運営協議会が設立されている公園には、「〇〇公園・緑地管理運営協議会が管理運営しています」といった表示があるだけなので、公園管理者と協議のうえ、その趣旨・役割等をわかりやすく表現した看板を掲示することが望ましいと考えます。
- 趣旨・役割等をわかりやすく掲示することで、管理運営協議会は維持管理だけではなく公園の企画運営まで行うことができる団体であるということ、公園を地域コミュニティの拠点として積極的に活用していくことができるということを市民・管理運営協議会の双方に周知できます。
- また、市民の側では区民会議委員が中心となって、地域の協議会と積極的に関わり、サポートしていくことが重要と考えます。
- さらに行政側では、協議会の代表者が集まる会議の場を活用し、研修などを通じて地域コミュニティの担い手であるという協議会の趣旨を継続的にお知らせすることや、区民会議での審議経過を伝えることなどを行うべきと考えます。

## 2. 地域資源を活用した地域コミュニティの活性化に関する提案

### 1) 宮前区の宝・顔に関する現状と取組

#### (1) 地域資源（宝物）に関する現状

宮前区内には、歴史文化・自然・市民活動・都市農業など多くの魅力的な資源がありますが、その大半は区民にあまり知られていません。

これは、昭和41年の田園都市線の長津田駅までの延伸に伴って順次沿線開発が始まったという宮前区の歴史的経緯に起因していると考えられます。都心部のベッドタウンとして発展を遂げてきた宮前区は、都市としての歴史もまだ40年余であり、また、過去に社宅などが多かった関係で通勤族が多く、いわゆる「川崎都民」と呼ばれる区民が数多く住んでいるという特徴があります。

このため、宮前区は極端に言えば「腰掛けで住むところ」「眠るためだけに帰るところ」といった場所となってしまう、生活をする上で地域のことにさほど関心を払う必要がありませんでした。例えば、住宅地のすぐそばで展開されている都市農業では、「かわさきそだち」にも指定されている質の良い農産物がたくさんありますが、区内での販売ルートがあまり確立されていないことなどから、区民にはあまり知られていません。

こうした状況などもあり、市内7区中では最も遅い形となりましたが、平成19年度には、「住んでよし・訪れてよし」をキャッチフレーズに、宮前区観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始しています。

このほかに一般論として、地域の宝といえるものに目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などもあると考えられます。

#### (2) 宮前区に対する内外のイメージ

部会では、「自然豊かな閑静な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある」といったものが、概ね委員が共通して抱いている宮前区のイメージでした。

一般的には、田園都市線沿線を中心に、都心へのアクセスの良さと緑豊かな暮らしを併せ持つ住宅地としての人気が高いほか、特に教育の評価が高く、子どもの教育のために宮前区に引っ越してきたという話も聞かれます。

その一方で、「宮前区ってどんなまち？」と一般区民を対象に聞いたとしても、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないかと、という感想を持ちました。

平成14年度に行われた「川崎市政及び区政に関する市民1万人アンケート」によれば、「お住まいの区のイメージは？」という設問に対して、「とくにない」と回答した区民の割合が7区で最も高かった(12.1%)という結果が、この委員の感想を裏付けるデータになっていると考えられます。

#### (3) その他宮前区をめぐる現状

宮前区は、宮前地区と向丘地区とに分かれており、現在は、東名高速道路が概ねその境となっています。川崎市域はかつて武蔵国の一部を構成していましたが、宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っているのではないかと、との意見

が委員からは出されました。

このほか、現在雑誌等において紹介される機会が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心となっています。

## 2) 解決すべき課題など

### (1) 資源の分類について

課題の抽出や解決策の検討に先立ち、宮前区内の既存の資源の情報の収集を行いました。また、それを広く区民に紹介することを見据え、資源の分類方法等について審議しました。

#### ■ 5つの大分類…自然、歴史文化、産業、活動、まち・施設

資源の分類については、できるだけわかりやすくシンプルであるべきという意見を踏まえ、以下の5つの大分類としました。

自然	緑・緑地・公園、水、生物、植物 など
歴史文化	史跡・遺跡、歴史のある道、伝承・民俗文化、寺社仏閣、ゆかりの人物 など
産業	食べ物、その他産物、農業、工業 など
活動	イベント、市民活動 など
まち・施設	ランドマーク・モニュメント、施設、道、商店 など

また、これらの資源を実際に紹介する際には、その資源のある地域やその資源を楽しむことができる時期などもデータ化し、資源データの検索の方法はできるだけたくさんあった方が良いとの意見もありました。

#### ■ 楽しむ方法…みたい(見/観)・ききたい(聞/聴)、買いたい・食べたい、やってみたい

宮前区の資源を紹介する際に、区民にその資源により親しみを感じてもらうために、「楽しむ方法」という別の観点から資源を分類することとしました。

### (2) 「資源」「宝」「顔」の定義について

具体的な課題解決策の審議にあたり、部会で何気なく使われていた地域の「資源」「宝」「顔」という言葉について、しっかり定義することとしました。

#### 宮前区の「資源」・まだ区民が知らない、区民にあまり知られていないものも含む

もっとも広い範囲をさす言葉で、まだ発見されていないものも含まれる。

#### 宮前区の「宝」…区民に知られている、区民に大切にされているもの

資源の中でも、ある一定の地域や範囲の区民に知られているもの。また、区民に大切にされているものが“宝”である

#### 宮前区の「顔」…区外にも知られている、区民の誇り・シンボルになっているもの

宝の中でもさらに、区外にも広く知られており、宮前区の魅力として広く認められているもの、区民の誇りやシンボルになっているものが“顔”である。

例えば、宝物はある地域や人々の間で密かに、門外不出の形で守られている場合も考えられますが、顔になるには、外からもその魅力が明確になっている必要があるものと考えられます。

(3) 「宝」や「顔」があるまちのイメージ

まちの宝や顔があることによって、次のような効果が期待できると考えられます。

【区民一人ひとりの立場で考えた場合】

- ・ 「宮前区ってどんなまち？」と聞かれた場合、自信を持って、自分の住んでいるまちの特徴や魅力を区外の人に紹介することができる
- ・ それぞれが地域に愛着を持っていて、終の棲家とすることも考えている
- ・ 地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている

【地域社会全体で考えた場合】

- ・ 地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成されている
- ・ 豊かな地域コミュニティを礎として、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

(4) 解決すべき課題について

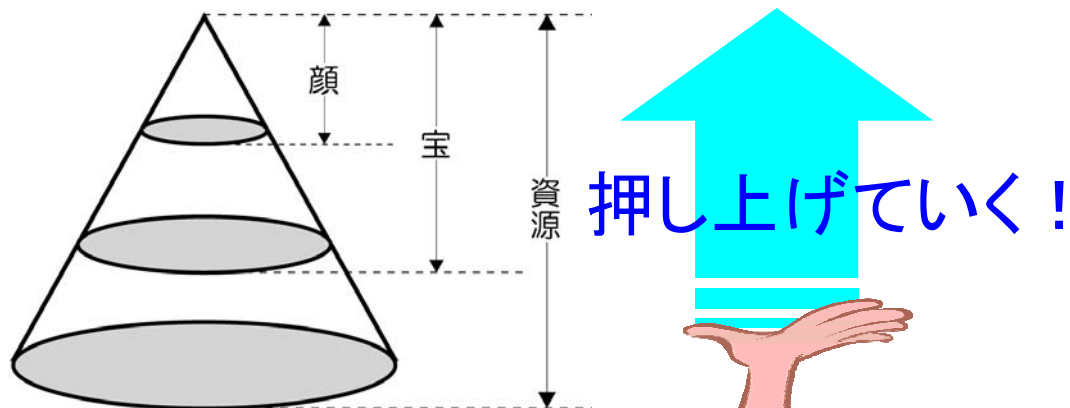
宝や顔があるまちづくりに向け、部会では、解決すべき課題を次のとおりとしました。

■ **課題：区内の資源の共有・押し上げ**

区内の「資源」が「宝」や「顔」となっていくためには、まず区民一人ひとりに資源の存在を知ってもらったうえで、区内全体で共有し、最終的には対外的に発信して区外からも認知してもらう必要があります。

「資源」が「宝」を経て「顔」となるまでのプロセスを図で示すと以下のようになります。共有の度合いは、「資源」が「宝」に、「宝」が「顔」になるほど高まると考えられます。地域の資源を“発見”し、それが“共有”されることで地域の宝になり、さらにそれが広く“情報発信”されることで、地域の顔となっていきます。

部会では、「資源」を「宝」や「顔」に押し上げていくプロセスを具体化し、これに地域単位で多様な世代の住民が関わり楽しみながら参加できるようにしていくことを解決すべき課題として設定しました。





#### (5) 先行事例・他地域での取組

部会では、地域資源をコミュニティの活性化に繋げている事例として、「野川ふるさとカルタ」に注目し、作成までの経緯や現状について聞きました。

その後、カルタづくりの先行事例として群馬県の「上毛かるた」について調べた結果、カルタづくりには地域の資源を再発見する効果があること、また教育現場などでカルタを活用することで資源の共有が期待できることなど、地域コミュニティの活性化に大きな効果があることがわかってきました。

##### 【野川ふるさとカルタ】

- ・ 宮前区野川では、平成 18 年から 20 年にかけて、宮前第 1 地区社会福祉協議会が中心となり、地域の良さや歴史を知ってもらうための手段としてカルタを制作しました。
- ・ カルタは地域の学校や町会、子ども会などに配布され、現在は絵札を題材に地域を廻るスタンプラリーなどが企画されており、カルタを中心とした地域コミュニティが活性化し始めています。

##### 【上毛かるた】

- ・ 群馬県では、故郷の文化や歴史を子どもたちに伝えるため、昭和 22 年に郷土カルタが制作されました。
- ・ 上毛かるたでは、幅広い題材が読まれており、カルタで取り上げられることで現在まで語り継がれた人物もいるなど地域の文化、歴史を繋ぐ効果的な題材となっています。
- ・ また、発行翌年の昭和 23 年からは上毛かるた県競技大会も開催され、子どもたちが練習に励む姿は風物詩となっています。
- ・ 『少年時代を群馬県で過ごした人は必ず知っている』とまで言われるほど地域の共有財産として認知されています。
- ・ また、カルタを題材に県の名所・歴史・文化などを巡るバスツアーが開催されるなど、子どもから大人まで幅広い世代で活用されています。

### 3) 地域の宝さがしを通じた地域コミュニティの促進に関する具体的な解決策

#### 提案：宮前区のカルタをつくろう！

##### 【趣旨・目的】

- ・ 幅広い世代が参加して地域の「資源」を探し出し、「宝」・「顔」へと押し上げていく過程を通じて、地域への愛着を涵養し地域コミュニティの活性化を目指します。

##### 【実施内容】

##### ■ みやまえカルタを制作します

- ・ 平成 24 年度に区政 30 周年記念を迎えることから、その年を目指し区政 30 周年記

念みやまえカルタを制作します。

- その前段として、8つの中学校区ごとの地区別カルタを地域が主体となって制作します。
- 区政30周年記念みやまえカルタは、上記地区別カルタから選抜することとします。
- カルタの制作にあたっては、「まち歩き」や地域のワークショップを実施するなどそのプロセスを重視することとし、より多くの区民が参加できる方法を目指すこととします。

#### ■ みやまえカルタを活用します

- 制作されたみやまえカルタは、地域を知り愛着を深めるツールとして、地域版・全区版とも各種イベントや教育現場で積極的に活用するものとします。

#### 【実施主体とその役割】

##### ■ みやまえカルタ制作実行委員会の設立

- みやまえカルタ制作実行委員会(以下「実行委員会」といいます。)において、カルタ作りの基本的方針を策定します。
- 実行委員会では、中学校区ごとの部会を設け、そこで地区別のカルタを制作することとします。部会の実際の活動に際しては、実行委員会のメンバーだけでなく、広く地域から参加者を募ることとします。
- 地区別カルタの制作状況の進行管理・内容調整を行います。
- 多くの人に、地区別カルタの制作過程やその成果を知ってもらうため、発表会イベントを開催することとし、その企画を本委員会が行います。
- 地区別のカルタから選抜される区全体のカルタの選考を行います。

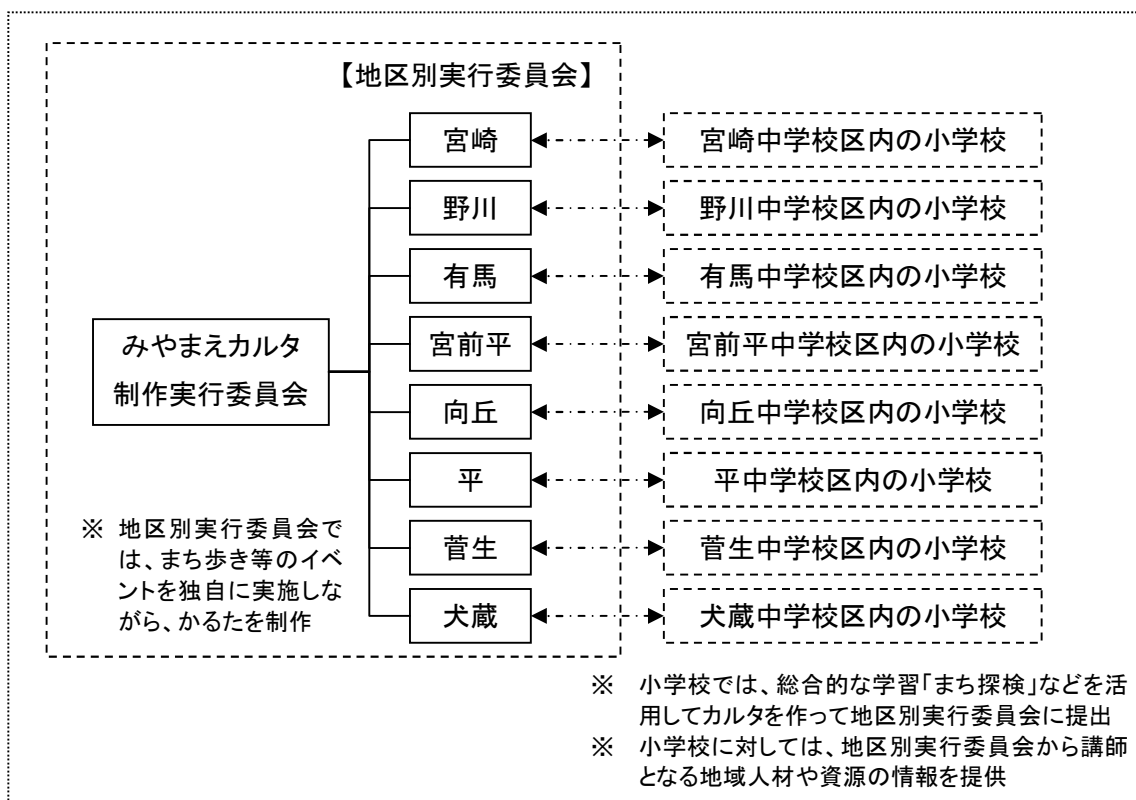
##### 〈実行委員会への参加を呼びかける団体(案)〉

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| • 宮前区全町内・自治会連合会           | • 宮前区観光協会             |
| • 宮前区商店街連合会               | • 宮前区文化協会             |
| • 宮前区老人クラブ連合会             | • 宮前区社会福祉協議会          |
| • 宮前区民生委員・児童委員協議会         | • 宮前区地域教育会議           |
| • 宮前区PTA協議会               | • グリーンフォーラム21 みやまえ    |
| • 宮前区歴史文化調査委員会            | • 株式会社フューチャーリンクネットワーク |
| • 第2期区民会議委員(若干名)          |                       |
| • 宮前区役所(企画課、地域振興課、こども支援室) |                       |

##### ■ 各小学校での取組

- 総合的な学習の「まち探検」の時間を活用し、小学校区単位で手製のカルタ作りを行ってもらうことを、実行委員会から依頼します。
- 制作されたカルタは実行委員会に提出してもらい、地区別カルタの制作に活用することとします。
- 各小学校に対しては、実行委員会から講師を派遣したり、地域の資源の紹介などを行ったりします。

## 【実施体制イメージ】



## 【スケジュール】

- みやまえカルタの制作にあたっては、概ね次のスケジュールで実施することが望ましいものとします。

	取組内容
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の実行委員会を立ち上げ →中学校区ごとの部会を立ち上げ</li> </ul>
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>まち歩き(テーマ別)</li> <li>読み札募集</li> <li>絵札募集</li> <li>地区ごとにフォーラム開催</li> <li>読み札選考</li> <li>絵札選考</li> <li>カルタ制作</li> <li>地区ごとにカルタ大会を開催</li> </ul>
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>カルタの人気投票(インターネット)</li> <li>区民祭で各地区のカルタのプレゼンテーションと人気投票</li> <li>人気投票の結果を受けて、(仮称)区政30周年記念みやまえカルタを制作</li> <li>区政30周年記念大カルタ大会の開催</li> </ul>
<平成25年度以降> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のイベントや教育現場での活用</li> </ul>	

## 第6章：第1期提案への取組

第1期宮前区区民会議提案に対する取組の実施状況や経過について、毎回の全体会の場で、行政と区民が双方から報告を行い、意見交換を行う場を設けてきました。ここにこれまでの成果を総括します。

### 1. 第1期宮前区区民会議からの提案一覧

#### 高齢者福祉（8提案）

- できるだけ要支援・要介護にならない
- 要支援・要介護になっても住みつけられる
- 要支援・要介護になってもそれ以上悪くならない

- 提案① ご近所サークルの形成
- 提案② 地域ぐるみの散歩活動などの実施
- 提案③ 出前講座の実施
- 提案④ 高齢者の学校給食体験の実施
- 提案⑤ 地域高齢者を見守る会議の設置
- 提案⑥ 団塊世代による高齢者福祉のサポート
- 提案⑦ 成年後見制度の普及・啓発
- 提案⑧ 市営住宅などにおけるひとり暮らし高齢者の見守り

#### 子育て支援（9提案）

- 親は家庭においてしっかり子育てをする
- 家庭における子育てを地域でサポートする

- 提案① 健診時における情報の収集・発信
- 提案② 町内会組織などを利用した、効果的で効率的な地域子育て情報の発信
- 提案③ 公立保育園の園庭開放などにおける積極的な声かけの実施
- 提案④ 赤ちゃん広場の拡充
- 提案⑤ 子育て支援センターの拡充
- 提案⑥ 公立保育園園庭開放の拡充
- 提案⑦ 地域による公園管理の促進
- 提案⑧ 子育て関連組織による協議会（ネットワーク）の立上げと運営
- 提案⑨ 地域などへの出前講座の実施

#### 明日のコミュニティ（3提案）

- 宮前区のコミュニティは小学校区単位から  
人と人とのつながり(顔の見える関係)の強化。宮前区の特徴を活かしたコミュニティの促進

- 提案① 小学校区単位での地域の特徴を活かしたコミュニティの促進
- 提案② 「地域のたまり場」の創出
- 提案③ 「地域のつなぎ手」の育成

#### 地域防災（3提案）

- 災害に強く被害を最小限に留める地域の形成

- 提案① (仮称)「みんなで作ろう防災対策」の作成
- 提案② 防災出前講座の拡充
- 提案③ (仮称)宮前区防災推進員の育成

## 2. 提案内容と提案に対する取組状況

### 2-(1) 高齢者福祉（8提案）

<b>高齢者福祉 提案① ご近所サークルの形成</b> ～ご近所サークルの形成で、地域で「顔の見える関係」を築き、支え合おう！～	
<p><b>■提案</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脱閉じこもり、近隣の支えあい、災害弱者対策などにつなげる。</li> <li>・徒歩圏内で、できそうな地域、協力可能な家庭や施設から、高齢者を含めて始める。</li> <li>・開催頻度・規模などは気楽な形、負担の少ない形で始め、人間関係構築を重視する。</li> <li>・「わたしの町のすこやか活動」を基盤に地域のネットワークを広げていく。</li> </ul>	
<p><b>■方向性</b> 担い手：◎市民 ○区役所                      所管課：高齢者支援課／地域保健福祉課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご近所サークルの普及啓発</li> <li>・新規サークル立上げに向けた出前講座開催、区役所ロビーでのご近所サークル紹介ビデオ放映</li> <li>・地域包括支援センターによるすこやか団体への支援、すこやか連絡会への事務局支援 など</li> </ul>	
<b>提案時（H19.03）の状況</b> <b>現在（H22.03）の状況（新たな物）</b>	
<p><b>ご近所サークル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野川地区   ：ダイヤモンドクラブ約 20</li> <li>・有馬地区   ：個人宅 1</li> <li>・南平台地区：市営住宅 1、個人宅 1</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしの町のすこやか活動 5 箇所</li> <li>・すこやか連絡会の開催</li> </ul>	<p>すこやか活動や相互交流を通じ、ご近所サークルが地域に広がっている。                      今後も行政と地域包括支援センターが支援を行い、高齢者の健康づくり・ご近所の見守りなどの活動を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野川地区、菅生 3 丁目地区、神木本町地区などでご近所サークルが増加</li> <li>・わたしの町のすこやか活動 10 箇所                          (市内 7 区最多の団体数)</li> <li>・すこやか連絡会の定期開催（年 2 回）</li> <li>・活動団体合同研修会    130 名参加（H21.01）                                                        名参加（H22.02）</li> </ul>

## 高齢者福祉 提案② 地域ぐるみの散歩活動などの実施

～地域ぐるみの散歩・体操活動から健康増進・介護予防・地域の見守りへつなげよう！～

### ■提案

- ・地域の自然や歴史などの魅力と絡め、参加への興味・関心・動機付けを高める。
- ・男性の地域デビュー、まちの資源の再発見の場としても活用を図る。
- ・マップづくり、ワークショップなど地域コミュニティ再発見の場を目指す。

### ■方向性 担い手：◎市民 ○区役所

所管課：地域保健福祉課

- ・運動普及推進員の増員、関係機関や活動グループとの連携を深めるための支援
- ・「わたしの町の介護予防ボランティア講座」の継続実施、講座受講者の活動支援
- ・公園体操マップの作成、広く区民に呼びかけ（協働推進事業として位置づけ）
- ・保健師の派遣等の団体の立上げ、活動の支援 など

### 提案時（H19.03）の状況

- ・公園体操 23 会場  
(H19 年度時の行政把握分)

### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

高齢者の健康維持・増進を図る健康づくり、また転倒予防・閉じこもり予防・認知症予防等の介護予防を目指し、地域住民が主体的に体操などの運動や仲間づくりを行っている。

公園体操については、包括支援センターと行政の連携による新規グループ立ち上げ支援や継続意欲喚起のための交流会などが行われている。会場も増えてきており、公園体操が広がることで住民の支えあいの意識とネットワークが強くなっている。

- ・公園体操 39 会場
- ・グループ交流会 90 名参加 (H21.02)
- ・公園体操マップ発行 (H21.12)
- ・宮前区オリジナル体操「～風の中で～」  
CD/カセット発行 (H22.01)

### 高齢者福祉 提案③ 出前講座の実施

～老後のくらしの充実、担い手育成を目的としたより身近な出前講座を開催しよう！～

#### ■提案

- ・週末や平日夜間の開催など、現役世代も参加しやすい講座を開催する。
- ・講師には専門家だけでなく、地域や区内の人材の活用を図る。
- ・介護、老後の暮らし、財産管理、運動や趣味の講座など多様な講座の展開を目指す。

#### ■方向性

担い手：◎市民 ○区役所

所管課：地域保健福祉課／高齢者支援課

- ・新たに、老人いこいの家での転倒予防に関する講座を開催
- ・成年後見制度の普及・啓発に向けた取組として、出前講座を開催（提案7と共通）

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・各団体の講演会、市民後見人養成講座等
- ・出前講座、介護予防普及啓発事業等

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

- 地域包括支援センターと協力し、身近な場所で高齢者対象のさまざまな講座を開催中。
- ・老人会、自治会等での健康づくり講座
  - ・老人いこいの家（区内5箇所）における週に1度の「いこい元気広場」
  - ・ミニデイ、一人暮らし高齢者会食会、すこやか活動等での講座

### 高齢者福祉 提案④ 高齢者の学校給食体験の実施

～高齢者の栄養の改善、子どもたちとの世代間交流を促進する学校給食体験を実施しよう！～

#### ■提案

- ・週1回、3ヶ月程度の継続を目安に、栄養改善効果が実感できるようにする。
- ・両者の食事スピードなどを考慮した開催方法を検討する。
- ・学校給食体験の御礼として高齢者が昔の遊びを教えるなど、更に交流を深める。

#### ■方向性

担い手：○市民 ○区役所 ○市役所

所管課：地域保健福祉課／高齢者支援課

- ・栄養改善に関わる各種講座の開催、介護グループへの支援
- ・区内高齢者の「元気度チェック」調査の実施、調査結果に応じた介護予防教室への参加推奨等

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・デイサービスやすこやか活動と地域小学校の交流等

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

- 閉じこもりの予防、孤独感の解消のために、高齢者の関心の高い認知症予防をテーマとした料理プログラムや講話などを実施している。
- ・栄養改善に関わる各種講座の充実
  - ・認知症予防教室料理プログラム

## 高齢者福祉 提案⑤ 地域で高齢者を見守る会議の設置

～地域の高齢者への有効な支援に向けた高齢者福祉関係者の情報交換の場を形成しよう！～

### ■提案

- ・自主活動グループ、町内会・自治会、地区社会福祉協議会、民生・児童委員、商店、家族、警察などの情報や意見の交換の場、見守りを連携して行なう会議を組織する。
- ・地域包括支援センターを核とし、H19年度は準備期間、H20年度よりモデル実施する。

### ■方向性

- 担い手：◎市民 ○区役所  
 所管課：高齢者支援課／地域保健福祉課
- ・地域包括ケア連絡会議の本格実施

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・3箇所地域包括連絡ケア会議の取組開始

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

- 不定期に行われていた地域包括ケア連絡会議が定期的開催され、民生委員・自治会長等と高齢者の見守り等について活発な意見交換が行われている。
- <みかど荘>  
毎月1回 野川セブン定例会において
  - <鷺ヶ峰>  
年3回程度、白幡台老人いこいの家および南平集会所にて
  - <フレンド神木>  
全体会を2ヶ月に1回、部会は随時開催
  - <富士見プラザ>  
年3回程度開催
  - <レストア川崎>  
鷺沼・犬蔵など各地域に出向き随時開催

## 高齢者福祉 提案⑥ 団塊の世代による高齢者福祉のサポート

～団塊世代の力を高齢者福祉の現場で活用しよう！～

### ■提案

- ・老人いこいの家などを拠点に地域活動サポートセンターを設置し、団塊世代を含む高齢者に向けての情報発信、担い手育成の拠点とする。
- ・地域の実情に合わせ、おやじの会、趣味のサークル、老人会などと連携を図る。
- ・わかりやすい情報拠点・窓口を目指し、モデル実施、団塊世代の登用を図る。

### ■方向性

- 担い手：◎市民 ○区役所  
 所管課：企画課
- ・キックオフ事業 講演会・パネルディスカッションの開催
  - ・担い手（シニアリーダー）育成事業
  - ・シニアライフ相談窓口の設置 など

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・みやまえ区民フォーラムの開催

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

- 宮前区シニアアドバイザーとの協働によるシニアライフ支援事業を展開中。
- ・シニアライフ相談窓口・よろずシニア本舗みやまえの開設（毎週木曜）
  - ・区民祭、向丘出張所での出張相談
  - ・大人の文化祭 in みやまえ開催



## 高齢者福祉 提案⑦ 成年後見制度の普及・啓発

～判断能力の不十分な方を支援する成年後見制度をより広く普及・啓発しよう！～

### ■提案

- ・地域での出前講座の中でとりあげるなどして、制度の普及・啓発を図る。
- ・市民成年後見人やボランティアによる被後見人支援の事例の収集・研究を行なう。

### ■方向性 担い手：○市民 ○区役所 所管課：高齢者支援課

- ・制度の認知度をあげるため、区民の養成に応じて成年後見制度の出前講座を開催
- ・地域ケア連絡会議で成年後見制度の説明会を実施

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・市民後見人養成講座の開催
- ・成年後見制度利用事業
- ・川崎あんしんセンターの開設

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

- ・利用事業の継続実施
- ・あんしんセンターの全区展開
- ・区地域ケア連絡会議等での普及啓発活動、専門職向け研修会開催、権利擁護部会の設置

## 高齢者福祉 提案⑧ 市営住宅などにおけるひとり暮らし高齢者の見守り

～市営住宅の空き部屋などを利用した高齢者見守り拠点を設置しよう！～

### ■提案

- ・高齢化が著しい市営住宅で、空き部屋を利用した高齢者の見守り拠点を設置する。
- ・見守り役を担うことを条件に所得制限などに関わらず入居できるような制度創設などにより、見守りの人材を確保する。

### ■方向性 担い手：◎市民 ○区役所

所管課：地域保健福祉課／高齢者支援課

- ・野川西団地の事例を参考に、地域で高齢者を見守っていく取組実施への働きかけ

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・野川西団地で棟ごとの日常的な見守り活動の実施


#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）


- ・区内団地への野川西団地の事例紹介（H19）
- ・ひとり暮らし高齢者の生活状況聞き取り調査
  - H20 一斉調査（75歳以上対象）  
見守り対象者8人  
地区民生委員が月1、2回訪問
  - H21～新75歳および転入者対象調査
  - H23 一斉調査予定

## 2-(2) 子育て支援（9提案）

子育て支援 提案① 健診時における情報の収集・発信 ～区内のほとんどの子どもが受診する健診の場をとらえて子育てに関する情報を収集・発信しよう！～	
<p><b>■提案</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要とされている支援の内容・ニーズをアンケート調査などで把握する。</li> <li>特に転入者などに対する、保育士などから積極的な声かけ、情報提供を行う。</li> <li>健診に合わせた育児相談コーナーを設置する。</li> </ul>	
<p><b>■方向性</b> 担い手：○市民 ◎区役所 ○区役所 所管課：保健福祉サービス課／こども支援室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健所待合スペースにおける子育てグループとの協働による情報の収集・発信</li> <li>公立保育園の保育士などによる専門的立場からの相談体制の確立</li> <li>子どもに関する調査結果の提供と、不足している情報に関する調査の実施</li> </ul>	
提案時（H19.03）の状況	現在（H22.03）の状況（新たな物）
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援グループによる活動</li> <li>ウェルカムみやまえキャンペーン</li> <li>子育て情報コーナーの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健所フロア待合スペースを活用し、関係機関や育児サークル等の情報発信</li> <li>1歳6ヶ月健診における保育相談・園庭開放案内や近隣保育園の紹介</li> <li>健診の事前オリエンテーションにおける予防接種・離乳食・事故防止などの健康情報の提供とリーフレット配布</li> <li>転入親子対象の「うえるかむクラス」開催</li> </ul>

子育て支援 提案② 町会組織等を利用した効果的で効率的な子育て情報の発信 ～町会組織を利用した子育ての情報発信でより多くの地域の人に子育てに関心をもってもらおう！～	
<p><b>■提案</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内会・自治会の協力を得て、子育て情報紙を地域で回覧する。情報紙は目を惹き、見やすくわかりやすい編集を心がける。地域の掲示板なども活用する。</li> <li>高齢者問題にゆきがちな民生・児童委員や町内会・自治会の関心を子育てに向ける。</li> <li>相談先の重点的な紹介、気楽に相談できる環境づくりとそのPRに努める。</li> </ul>	
<p><b>■方向性</b> 担い手：○市民、○区役所 所管課：保健福祉サービス課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て情報紙「子育てかわら版」の町内会組織等を通じた地域への回覧</li> </ul>	
提案時（H19.03）の状況	現在（H22.03）の状況（新たな物）
<ul style="list-style-type: none"> <li>「子育てかわら版」を年2回発行、公共施設等で配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「子育てかわら版」の町内会・自治会等への回覧を実施（H19.07～）</li> <li>関係行政機関、保育園、幼稚園、子育て支援センター、医療機関、郵便局や社会福祉協議会へ継続配布</li> </ul>

<b>子育て支援 提案③ 公立保育園の園庭開放などにおける積極的な声かけの実施</b> ～育児不安の解消の一助として、園庭開放等の場で積極的な声かけ・育児相談を実施しよう！～	
<b>■提案</b> ・公立保育園の園庭開放や健康診断時に積極的に声をかける。 ・相談をためらっている親の悩みを取り上げ、施設や場に親しみを感じてもらおう。	
<b>■方向性</b> 担い手：○市民 ○区役所 ○市役所 所管課：こども支援室 ・園庭開放における状況に応じた相談などへの対応 ・公立保育園における子育て世代を対象とした育児相談のしくみの構築	
<b>提案時（H19.03）の状況</b> 	<b>現在（H22.03）の状況（新たな物）</b>
・園庭開放の実施、身体測定・簡単な相談の実施	・老朽化していた保育相談の看板を新しく設置 ・園庭開放時における相談対応 来園者への丁寧対応により利用者定着

<b>子育て支援 提案④ 赤ちゃん広場の拡充</b> ～赤ちゃん広場の未実施地区での実施や新たな担い手、会場を発掘しよう！～	
<b>■提案</b> ・子育てをしている母親が接する場として、「赤ちゃん広場」を重視し、拡充を図る。 ・気軽に行ける場として区内を網羅できるよう、商店街の空き店舗や町内会施設、わくわくプラザの午前利用など新たな会場の開拓を行う。 ・ボランティアグループだけでなく民生委員等も含めた新たな担い手の育成を行う。	
<b>■方向性</b> 担い手：◎市民 ○区役所 ○市役所 所管課：こども支援室／保健福祉サービス課 ・これまでに培ってきた地域の主体的な活動に対する連携の充実 ・市民の取組への活動の場の提供や職員の派遣など要請に基づいた積極的な協力	
<b>提案時（H19.03）の状況</b> 	<b>現在（H22.03）の状況（新たな物）</b>
・カンガルー宮前子育てネットワークが区内7箇所を実施 ・子育てボランティア、保健師、保育士の派遣等	子育てサロン各会場に年4～6回程度職員を派遣し、育児・健康相談や情報提供など実施中。 子育て支援関係者との協力関係が強化され、育児不安など援助が必要な人の見守りや相談の場として機能している。 ・すくすくけやき平開設 (H20.09～) ・子育てサロンみなみのがわ開設 (H21.04～)

<b>子育て支援 提案⑤ 子育て支援センターの拡充</b> ～子育て支援センターの開催日数や開催時間を拡充し、土日開放を推進しよう！～	
<b>■提案</b> ・開設日・時間の拡充。父親の参加を意識した土日の開設・施設開放を進める。 ・未就園児に限られている対象年齢の拡充も図る。	
<b>■方向性</b> 担い手：○市民 ○区役所 ○市役所 所管課：こども支援室 ・さぎぬま及び、すぐお子育て支援センターにおける土曜日開放の試行実施 ・実施回数の拡充に向けた担い手確保のための地域への協力要請	
<b>提案時（H19.03）の状況</b>	<b>現在（H22.03）の状況（新たな物）</b>
・年2回、2箇所の土曜開放の試行実施	・児童館型子育て支援センターを2箇所新設 ふあみいゆ平（H20.10～） ふあみいゆ宮崎（H21.07～） ・地域との交流会の開催 ・父親の育児参加がテーマのセミナー開催

<b>子育て支援 提案⑥ 公立保育園園庭開放の拡充</b> ～園庭開放の開催日数や開催時間を拡充し、特に雨天時でも集まれる室内開放を充実させよう！～	
<b>■提案</b> ・身近な子育て施設である公立保育園の施設開放の拡充、開催日数・時間の拡充や室内開放の充実で、親子の居場所づくりに努める。	
<b>■方向性</b> 担い手：○市民 ○区役所 ○市役所 所管課：こども支援室 ・11園中6園で施設開放の時間や回数の拡充	
<b>提案時（H19.03）の状況</b>	<b>現在（H22.03）の状況（新たな物）</b>
・各園の事情に応じて園庭開放実施	・区内公立全10園で園庭開放の時間や回数を拡充 ・民営の野川南台保育園、宮前平保育園でも実施 ・公立5園で体験保育を開始

<b>子育て支援 提案⑦ 地域による公園管理の促進</b> ～地域の公園の維持管理・運営に子育て世代が関わることで、子育てしやすい公園づくりを進めよう！～	
<b>■提案</b> ・地域の公園の運営や維持管理に子育て世代が関わり、子育てしやすい公園づくりを進める。 ・宮前区の特徴である多摩丘陵の自然を活かし、育児・遊び・教育・健全育成の場として安全・安心な公園づくりを進める。 ・公園に集まる母親グループの代表が公園・緑地管理運営協議会に参加していく。	
<b>■方向性</b> 担い手：◎市民 ○区役所 ○市役所 所管課：企画課 ・管理運営協議会の未設置公園をモデル公園として、子育て世代を含めた管理運営協議会の立上げを支援	
<b>提案時（H19.03）の状況</b>	<b>現在（H22.03）の状況（新たな物）</b>
・区内39の公園緑地管理運営協議会が設立・運営開始	・区内62箇所で公園・緑地管理運営協議会が設立・運営開始

## 子育て支援 提案⑧ 子育て関連支援組織による協議会(ネットワーク)の立上げと運営

～子育て関連支援組織が連携しあい、地域全体で子育てをサポートするしくみをつくろう！～

### ■提案

- ・子育てグループ、民生・児童委員、町内会・自治会、社協、地域教育会議などの情報交換・連携を図る、活動者、子育て中の人に関われるネットワークを立ち上げる。
  - ・安全・安心マップづくりなどワークショップ、体験・人脈づくりに取り組む。
- 既存施設、未利用施設の有効利用や新たな人材の発掘にも取り組み、地域の子育てに関わる課題の解決に向けて、知恵を出し合う場とする。

### ■方向性 担い手：○市民 ○区役所

所管課：こども支援室

- ・平成19年夏を目途に「こども総合支援関係者懇談会」及び「子育て支援関係者連絡会」の見直しによる市民との協働による新たな協議会の立上げに向けた取組

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・こども総合支援関係者懇談会
- ・子育て支援関係者連絡会

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

子育て関係機関が一堂に会する会議の立上げにより、各団体が把握した課題・意見の集約と連携の強化が図られた。

- ・宮前区子ども・子育てネットワーク会議  
代表者会議年2回、実務者会議を年6回開催

## 子育て支援 提案⑨ 地域などへの出前講座の実施

～子育て世代が集まっている場に向いて育児講座を実施しよう！～

### ■提案

- ・子育て世代が集まっている場に向いた、積極的な子育て情報の発信、子育てをサポートする人材の発掘・育成を行なう。
- ・特に父親の育児参加、母親の育児力アップを目指す。

### ■方向性 担い手：○市民 ○区役所

所管課：こども支援室／保健福祉サービス課

- ・地域保健業務における市民団体等の協力に基づいた各種講座の地域実施の拡充
- ・親と子の子育て応援セミナーの実施
- ・人材の発掘・育成に向けた市民公募のしくみの構築
- ・市民の企画した出前講座への職員の派遣

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・区内3ブロックで、育児講座やあそび紹介を実施
- ・赤ちゃん広場への保育士派遣など

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

子育てサロンや子育て支援センター等への職員派遣や出前講座などで健康相談・健康情報の提供を行っている。子どものいる家庭や子育て支援者が健康問題に関心を持つきっかけとなっている。

- ・子育て支援センターで乳幼児の子育てに関する出前講座の開催
- ・市民企画の講座への職員の派遣 など

また希望者の多い「親と子の子育て応援セミナー」については回数、人数、内容の見直しを行った。

- ・親と子の子育て応援セミナーの開催・拡充  
(前期・後期 各7回制)

## 2-(3) 明日のコミュニティ (3提案)

<b>明日のコミュニティ 提案① 小学校区単位で地域の特徴を活かしたコミュニティの促進</b> ～小学校区単位で、地域の諸団体や多世代が共通のもとに活動する場を形成しよう！～	
<b>■提案</b> ・徒歩圏内である小学校区単位で諸団体や多世代が共通テーマのもとに活動することで、地域の再発見、地域の特徴を活かしたコミュニティづくりにつなげる。 ・働きかける対象として「子ども安全・安心協議会」に着目する。 ・地域の環境や特徴、活動状況に応じた柔軟な進め方・形態を心がける。 取組の例：情報交換の場、地域の情報カレンダー、防犯講習会、地域安全マップづくり、地域の文化祭、地域の宝さがし、競技会的防災訓練など	
<b>■方向性</b> 担い手：◎市民 ○区役所 ○市役所 所管課：こども支援室／企画課／地域振興課／地域保健福祉課ほか ・商店街と連携した地域コミュニティ促進事業 ・地域のお祭りなどの情報を地域ごとにわかりやすく発信するホームページや、地域ポータルサイト「みやまえばーたろう」への掲載 ・小学校区子ども安全・安心協議会における防犯講習会などの出前講座実施支援 ・地域教育会議での地域安全マップづくりにおける小学校安全・安心協議会との連携支援 ・市民の企画した出前講座への職員の派遣	
提案時 (H20.03) の状況	現在 (H22.03) の状況 (新たな物)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども安全・安心協議会による地域のみまわりパトロール活動</li> <li>・商店街と地域の共催イベント、地域の文化祭</li> <li>・地域安全マップ作成の取組</li> <li>・町会加入促進パンフレットの配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントカレンダー「歳時記みやまえ」発行。町内会・自治会を通じ回覧。(H21.03～)</li> <li>・地域安全マップインストラクター講座 (H21.02)</li> <li>・第2期の提案による新たな取組</li> </ul>

<b>明日のコミュニティ 提案② 「地域のたまり場」の創出</b> ～地域の誰もが気軽に立ち寄り、交流が進む、「地域のたまり場」を創出しよう！～	
<b>■提案</b> ・地域の諸団体や多世代が気軽に立ち寄り、交流することで、顔の見える関係を築く「地域のたまり場」を地域の身近な範囲で創出する。 ・飲食なども可能な、地域住民が自由に集える場を目指す。 ・広場や空き店舗等の活用、自宅開放型の場づくりなどを積極的に進める。	
<b>■方向性</b> 担い手：◎市民 ○区役所 所管課：企画課／地域振興課／地域保健福祉課ほか ・商店街と連携した地域コミュニティ促進事業における空き店舗等を利用した地域のたまり場の創出支援	
提案時 (H20.03) の状況	現在 (H22.03) の状況 (新たな物)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご近所サークル等による自宅開放型の場づくり</li> <li>・赤ちゃん広場の開催による親子の交流の場づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さぎ沼商店街と協働でオリジナルエコバッグ教室およびコンテストを開催 (H20年度)</li> <li>・鷺沼會館地域交流スペース開設 (H21.06～) 毎週いきいき健康マーチャンを、月1回程度各種講座を開催</li> </ul>

## 明日のコミュニティ 提案③ 「地域のつなぎ手」の育成

～地域の担い手育成や連携に貢献する「地域のつなぎ手」が育つ環境づくりを進めよう！～

### ■提案

- ・提案1・2の推進を通じて、地域の多様な人や活動に働きかけ、担い手の発掘や連携、活動の場づくりができる「地域のつなぎ手」が自然に育つ環境づくりを進める。
  - ・区役所は研修や講座開催等の側面的支援を行なう。
- ※意図的、計画的に進められるものではなく、地域コミュニティの形成と共に自然発生的に出てくるのが最も望ましい。

### ■方向性

担い手：○市民 ○区役所  
 所管課：区役所各課

- ・地域での担い手の発掘や育成に関する取組への積極的な協力・支援
- ・日常業務やイベントにおける地域の様々な活動団体や人材との連携・コーディネート

**提案時（H20.03）の状況**



**現在（H22.03）の状況（新たな物）**

- ・シニア世代対象の「地域コーディネートを学ぶ講座」の開催（H20年度～）

## 2-(4) 地域防災 (3提案)

<b>地域防災 提案① (仮称)宮前区版「みんなでやろう防災対策」の作成</b> ～地域や家庭で行なうべき防災対策をまとめた資料を作成・活用しよう!～	
<b>■提案</b> ・防災意識の向上に向け、地域や家庭で行なうべき防災対策(自助・共助)を(仮称)宮前区版「みんなでやろう防災対策」としてまとめ、既存の資料と併せて出前講座等で活用する。 ・作成は協働で進め、簡潔でわかりやすく、説得力のある資料を目指す。イメージとしては、家庭で掲示しやすいマグネット形式、引き比べができ、意識啓発になるチェックリスト形式や時系列形式など。	
<b>■方向性</b> 担い手：○市民 ○区役所 ○市役所 所管課：企画課／地域振興課ほか ・協働による防災意識向上に向けた防災対策資料の作成と活用 ・防災意識啓発事業：防災ニュースの町内会・自治会への回覧、防災フェアの開催 ・区ホームページから防災や防犯、安全安心に関する情報発信	
提案時 (H20.03) の状況	現在 (H22.03) の状況 (新たな物)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の形成と運営</li> <li>・避難所運営会議の開催</li> <li>・防災ニュースの発行 (宮前区まちづくり協議会)</li> <li>・「備える、かわさき」の全戸配布</li> <li>・災害時連絡先カード、「我が家の防災ハンドブック」などの配布</li> <li>・宮前区地域防災計画の策定</li> </ul>	<p>防災フェアや防災ニュースの継続的な発行により、区民の防災意識の高揚を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災フェア 来場者 H20 年度 729 人、H21 年度約 600 人</li> <li>・防災ニュースを発行、町内会・自治会で回覧(季刊)</li> <li>・「防災ワンポイント豆知識」の作成(防災フェアで配布)</li> <li>・ホームページへ防犯・防災、安全・安心情報掲載</li> <li>・宮前区地域防災計画の推進</li> </ul>



## 地域防災 提案② 防災出前講座の拡充

～地域が主体となった防災をテーマとした出前講座の開催を増やそう！～

### ■提案

- ・地域に人が集まる機会を捉えての開催、地域主体の防災出前講座の開催を増やす。
- ・特にこれまで取組が少なかった乳幼児の子育て世代へ重点的に呼びかける。
- ・クロスロードゲームの活用など、参加型でわかりやすい講座とする。

### ■方向性

担い手：○市民 ○区役所 ○市役所

所管課：こども支援室／企画課／地域振興課ほか

- ・小学校区子ども安全・安心協議会における防災に関する出前講座実施支援
- ・保育園や幼稚園、赤ちゃん広場などにおける出前講座の実施支援

#### 提案時（H20.03）の状況

- ・地域教育会議によるクロスロードゲームの活用
- ・防災フェアの開催
- ・地域主催の救急法講習会
- ・市認定防災インストラクターによる防災出前講座
- ・避難所運営マニュアルの作成
- ・自主防災組織の勉強会開催

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

- ・赤ちゃん広場等において普及・啓発活動を行ったことで、防災への関心が比較的薄い子育て世代の防災意識向上を図ることができた。
- ・カンガルー通信、保育園・幼稚園、小学校などで防災出前講座の広報を新たに展開
- ・赤ちゃん広場での防災出前講座広報

## 地域防災 提案③（仮称）宮前区防災推進員の育成

～防災情報の普及・広報・防災出前講座の運営補助等を担う人材の育成を区独自に行なおう！～

### ■提案

- ・区民の防災意識の向上を計り、防災情報の地域への普及・広報、防災出前講座の運営補助等を担う（仮称）宮前区防災推進員の育成と活用を進める。
- ・防災の重要性の呼びかけ、避難所等基本事項の説明、関連資料の紹介など防災の広報的役割を果たす人材を、地域や団体単位でできるだけ多く育成する。
- ・より専門的な講師やクロスロードゲームインストラクターの育成も段階的に図る。

### ■方向性

担い手：○市民 ◎区役所 ○市役所

所管課：地域振興課ほか

- ・研修会の開催による区独自の防災推進員の養成
- ・防災ニュースの回覧や防災フェアの開催を通じた、防災意識の普及啓発

#### 提案時（H20.03）の状況

- ・先進自治体の視察（宮前区まちづくり協議会）
- ・市認定防災インストラクター（区民2名）

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

- ・宮前区防災推進員養成研修の開催（H21年度51名参加、H22年度34名参加）
- ・防災推進員通信の発行、自主防災組織を通じ回覧

## 第7章：第3期以降に向けて

2年に及ぶ第2期の取組を通じて評価すべき点と、第3期以降の区民会議において改善すべきと思われる点について、各委員から、主に次のような意見が出されました（意見の詳細については、資料10参照）。

### 1 地域課題の把握方法

第1期から引き継いだ159課題（地域の活動や区役所の日常業務を通じて把握）に、第2期の委員の意見も加え、平成20年度の最初の勉強会においてワークショップ形式で整理を行い10の分野に分類しました。

#### ■第2期の運営で評価すべき点

- ・ 159の課題を見たことで地域課題の多様性を把握することができた。
- ・ 10分野への整理により、短時間で委員の共通理解が得られた。
- ・ 第1期からの継続委員のフォローにより、第2期から就任した委員もスムーズに課題を理解することができた。

#### ■第3期に向けた課題

- ・ 課題は地域によって異なるので、地域別の課題の情報を吸い上げる必要性を感じるが、その場合には各地域の課題から見えてくる問題点を宮前区全体の課題として一般化する必要がある。
- ・ 地域課題の把握から審議課題の選定までを、もっとじっくり丁寧にやることも必要ではないか。
- ・ 159課題や10分野にあまり捉われず、フラットな視線で柔軟に課題出しをできる機会を設けてはどうか。

### 2 審議対象課題の優先順位付け、分野、規模、課題の数など

共通大テーマとして、「明日のコミュニティづくり」を掲げました。中核テーマとして「公園」「地域資源」の二つを選び、他の課題も視野にいれながら、地域課題に対して分野横断的・複合的なアプローチを図りました。

#### ■第2期の運営で評価すべき点

- ・ 様々な分野にまたがる課題を横断的に連携付ける視点を確保できたのは良かった。
- ・ 審議課題を2つに絞り込むことで、じっくりと議論することができ、その結果として実現可能性の高い踏み込んだ提案をすることができた。

#### ■第3期に向けた課題

- ・ 一般区民が感じている課題をどう取り込んでいくかが課題ではないか。
- ・ 何でもコミュニティの問題にせず、宮前区の地域特性はなにか、独特の地域課題とは何かを意識することも必要である。
- ・ 総括の仕方として、積み残し課題の検証も必要である。

## 3 区民会議(全体会)の会議運営

おおよそ3ヶ月に1回、全体会を開催し、専門部会の進捗状況の他、第1期の提案への取組状況、宮前区の協働推進事業等について、審議しました。

### ■第2期の運営で評価すべき点

- ・ 3ヶ月に1回の頻度はちょうど良いペースだった。
- ・ 委員長の進行や各部会長の発表が非常に良く、スムーズな会議運営だった。
- ・ 女性委員や若い委員の活発な意見は貴重である。
- ・ 区役所以外の会場で行う、出張区民会議は良い取組である。

### ■第3期に向けた課題

- ・ 特定の委員だけでなく、より大勢の発言を引き出す工夫が必要である。
- ・ 部会長の発表後に部会メンバーがそれぞれ発言していくと、よりわかりやすくなるのでは。
- ・ 会議終了後には議論内容をまとめ、委員で共通理解を持つことが必要である。
- ・ 参加いただいた参与にもっと発言を求めても良いのではないか。
- ・ 違う部会のメンバーの意見を引き出す工夫が必要だった。
- ・ 報告事項にかかる時間の短縮など、時間配分を工夫すべき。
- ・ 最初に任期2年間のおおまかなスケジュールを示すことができれば、新しく委員になった人も議論過程がイメージしやすいのではないか。

## 4 専門部会の会議運営

2つの専門部会を設置し、先進事例や区内の現状調査なども踏まえながら、任期の2年間をかけてじっくり検討を行いました。

### ■第2期の運営で評価すべき点

- ・ 部会発足から1年半、じっくりと時間をかけたことで具体的な提案ができた。
- ・ 部会形式は自由に意見が出しやすい。
- ・ 他の先進事例を知ることができ、議論の参考にすることができて良かった。
- ・ 部会メンバーの年齢構成が幅広く、若い世代の委員に力を発揮してもらえた。

### ■第3期に向けた課題

- ・ 会議の始まり、終わりに議論内容の確認をしたほうが良かった。
- ・ 関係者から先進事例を聞くだけでなく、現地調査など現場に出て調査・審議を行ってはどうか。
- ・ 区長への単なる提案だけに終わることなく、実施段階まで踏み込んだ実現性のある解決策を提案するというスタンスを今後も継続してほしい。
- ・ 部会スタート時の早い段階で、現状把握～具体的解決策の検討といった、部会での議論過程の目安があると議論しやすい。

## 5 区民会議から提案された課題解決策の取組と進行管理

課題解決策について、実行主体やスケジュールなど、具体的な検討を進め、より実現性の高い提案づくりを心がけました。第1期の取組に対しては全体会で毎回、進捗状況の報告・意見交換を行いました。

### ■第2期の運営で評価すべき点

- ・ 提案したことがどのように取り組まれているのか知るためにも報告は有意義である。
- ・ 区民会議提案に基づき実施されているものと、区民会議提案に基づき行っているわけではないが提案の趣旨に沿うものに途中から分けたことは良かった。
- ・ 区民と行政が一緒になり課題を解決していくという、区民協働の取組が実践されているのが把握できおり、一区民としてとても心強く思う。

### ■第3期に向けた課題

- ・ 途中で改善されたが、区民会議からの提案を受けて活動をしているわけではないのに、その活動の趣旨が区民会議提案と同じであったとしても、あたかも区民会議提案を受けて活動しているかのように報告されるのは良くなかった。実際の活動との関係整理をするべきである。
- ・ 進捗状況に応じた見直しの議論をもっとするべきである。

## 6 その他

その他、区民会議に参加を通じて感じたこと(制度全般、地域のこと)など。

### ■第2期の運営で評価すべき点

- ・ 区民会議からの提案が協働推進事業で盛り込まれ、議論の励みになり、やりがいと責任を感じることができる。
- ・ 様々な分野における地域課題や取組を知ることができた。
- ・ 普段関わりの少ない分野の活動がよくわかり、感心させられることも多かった。
- ・ 再任委員がフォローしてくれることで、落ち着いた雰囲気のもとスムーズに議論に入っていくことができる。

### ■第3期に向けた課題

- ・ 区民会議そのものの認知度アップが一番の課題である。認知度が向上し、区民の目がもっと議論に向けられるようになれば議論ももっと活発になる。「カルタづくり」「冒険あそび場づくり」は、宮前区民に区民会議の存在を周知させる可能性を秘めているのではないか。
- ・ 委員が所属する団体のメンバーに傍聴してもらえれば、提案の実施段階においても協力を得やすいのではないか。
- ・ 提案をいかに取組へつなげていくか、区民会議と団体、団体と団体が連携を取れるよう橋渡しの方策が重要である。

## 資 料 編

- 資料 1 第 2 期宮前区区民会議委員名簿
- 資料 2 宮前区区民会議の枠組み
- 資料 3 第 2 期宮前区区民会議委員構成
- 資料 4 宮前区における地域の課題一覧
- 資料 5 第 2 期宮前区区民会議 審議課題の絞込み
- 資料 6 公園・地域づくり部会 議論のまとめ
- 資料 7 公園・地域づくり アンケートまとめ
- 資料 8 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 議論のまとめ
- 資料 9 宮前区の宝さがし アンケートまとめ
- 資料10 第 3 期以降に向けた委員意見一覧

## 資料 1

## 第2期宮前区区民会議委員

No.	部会			氏名	選出区分	分野	団体名等
	企画	公園	宝				
1	◎			★ <small>ながの</small> 永野 <small>まさる</small> 勝	団体推薦	①防災・地域交通	宮前区安全・安心まちづくり推進協議会
2		○		<small>たなべ</small> 田邊 <small>やすあき</small> 保昭 (H21.3 まで部会長)	団体推薦	②福祉・健康	宮前区社会福祉協議会
3		○		<small>よしだ</small> 吉田 <small>こうたろう</small> 亨太郎	団体推薦		宮前区老人クラブ連合会
4		○		<small>ごとう</small> 後藤 <small>ひとみ</small> ひとみ (~H20.11.30)	団体推薦	③子育て・教育	宮前区子ども支援関係者連絡会
			○	<small>くぼ</small> 久保 <small>ひろこ</small> 浩子 (H20.12.1~)			
5	○			☆ <small>かわにし</small> 川西 <small>かずこ</small> 和子 (~H21.4.30)	団体推薦		宮前区地域教育会議
			○	<small>もちだ</small> 持田 <small>まさみ</small> 正美 (H21.5.1~)			
6			○	<small>かわい</small> 河井 <small>あきこ</small> 明子	団体推薦	④自然・生活環境	グリーンフォーラム 21 世話人会
7			○	<small>かわしま</small> 川島 <small>よししげ</small> 芳茂 (~H21.7.31)	団体推薦	⑤産業・まちの活力	宮前区商店街連合会
			○	<small>たにやま</small> 谷山 <small>やすはる</small> 安治 (H21.8.1~)			
8			○	<small>すずき</small> 鈴木 <small>かずこ</small> 和子	団体推薦	⑥文化・観光	宮前区観光協会
9		○		<small>よしおか</small> 吉岡 <small>きよし</small> 清	団体推薦	⑦地域組織・まちづくり	宮前区全町内会・自治会連合会 (向丘地区)
10		○		<small>ふくもと</small> 福本 <small>たかし</small> 尚	団体推薦		宮前区全町内会・自治会連合会 (宮前地区)
11	○		○	<small>まつい</small> 松井 <small>りゅういち</small> 隆一	団体推薦	⑧地域特性	宮前区まちづくり協議会
12	○	◎		<small>さとう</small> 佐藤 <small>としえ</small> 利枝 (H21.4 から部会長)	公 募		
13			○	<small>つねかわ</small> 恒川 <small>やすお</small> 康夫	公 募		
14	○			☆ <small>うがじん</small> 宇賀神 <small>やすし</small> 泰志	区長推薦		第1期区民会議 明日のコミュニティ部会長 (宮前区自主防災連絡協議会)
15		○		<small>すずき</small> 鈴木 <small>けいこ</small> 恵子	区長推薦		第1期区民会議 高齢者福祉部会長 (在宅介護支援ボランティアグループ すずの会)
16	○		◎	<small>たかぎ</small> 高木 <small>かずひろ</small> 一弘	区長推薦		飛森谷戸の自然を守る会
17			○	<small>ちば</small> 千葉 <small>まさゆき</small> 将行	区長推薦		㈱フューチャーリンクネットワーク
18	○			☆ <small>まえだ</small> 前田 <small>まさこ</small> 正子	区長推薦		(財)横浜市国際交流協会
19		○		<small>もくだい</small> 目代 <small>ゆみこ</small> 由美子	区長推薦		第1期区民会議 子ども部会長 (宮前区民生委員・児童委員協議会)
20			○	<small>わたなべ</small> 渡辺 <small>よしお</small> 良雄	区長推薦		第1期区民会議 地域防災部会長 (宮前区全町内会・自治会連合会 (向丘地区))

★……委員長 ☆……副委員長 ◎……部会長 ○……部会メンバー

## 【参与】

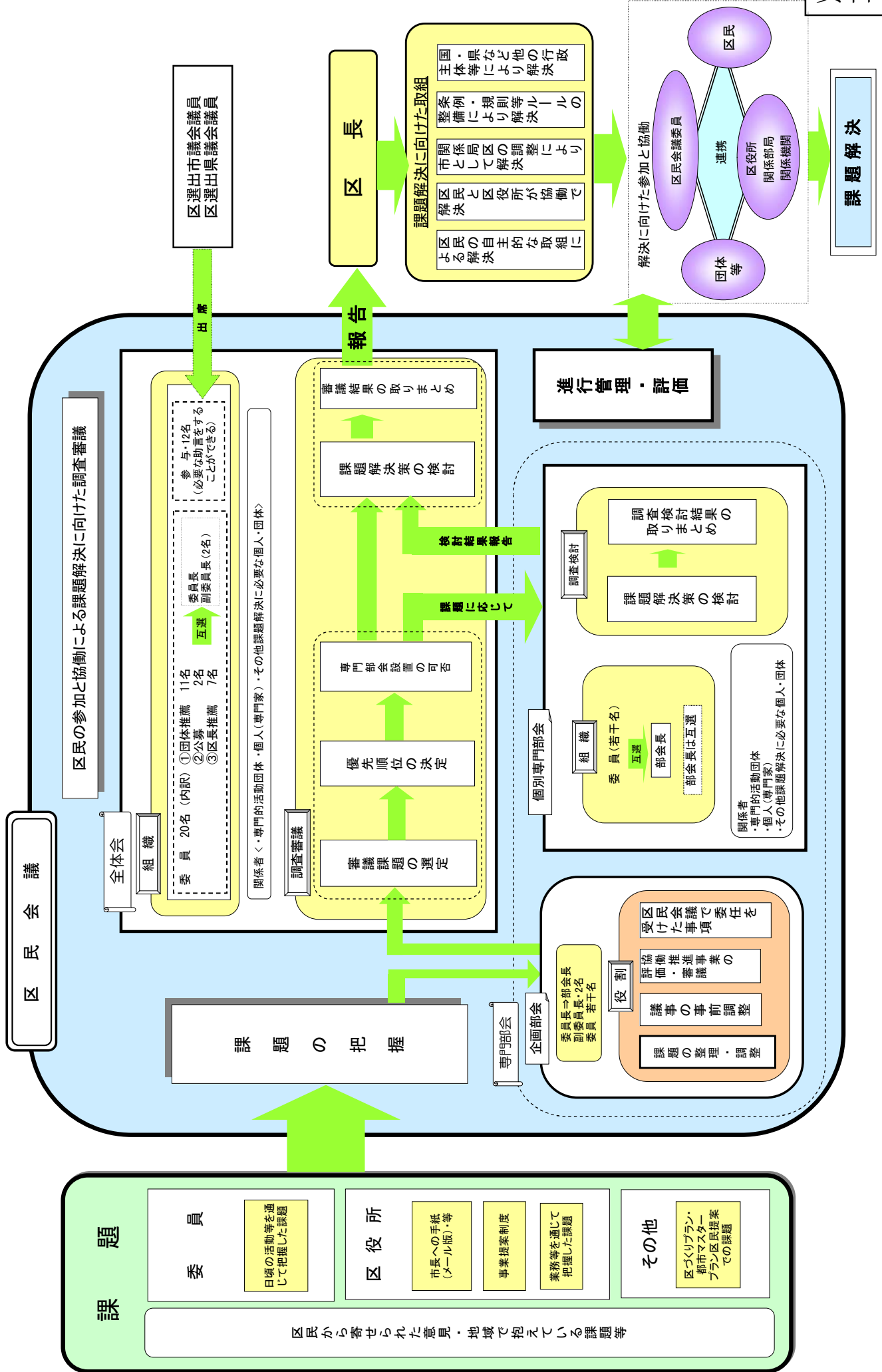
## 市議会議員

浅野 文直	織田 勝久
飯田 満	佐々木 由美子
石川 建二	平子 瀧夫
石田 康博	矢沢 博孝
太田 公子	山田 晴彦

## 県議会議員

持田 文男	福田 紀彦 (~H21.10.11)
-------	--------------------

# 宮前区区民会議の仕組み



委員選考の基本的な考え方  
 ・課題解決の担い手としての活動実績のある個人・団体  
 ・宮前区のまちづくりに意欲と熱意のある個人・団体

第2期宮前区区民会議委員構成

団体推薦（11名） 規則で定める8分野の中からそれぞれ選定

<p>防災又は地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆暮らしの安全を守る</li> <li>◆災害や危機に備える</li> <li>◆身近な住環境を整える</li> <li>◆快適な地域交通環境をつくる</li> <li>◆安定した供給・循環機能を促す</li> </ul>	<p>福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる</li> <li>◆障害のある人が地域で共に暮らせる社会をつくる</li> <li>◆安心な暮らしを保障する</li> <li>◆すこやかに健康に暮らす</li> <li>◆地域での確かな医療を供給する</li> </ul>	<p>子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆子育てを地域社会全体で支える</li> <li>◆子どもが生き生きと身につける</li> <li>◆生涯を通じて学び成長する</li> <li>◆地域人材の多様な能力を活かす</li> <li>◆人権を尊重し共に生きる社会をつくる</li> </ul>	<p>緑の保全、ごみの抑制など自然環境及び生活環境を向上させる分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆環境に配慮し循環型のしくみをつくる</li> <li>◆生活環境を守る</li> <li>◆緑豊かな環境をつくりだす</li> </ul>	<p>産業の振興、都市拠点の形成などまちの活力を高める分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆川崎を支える産業を振興する</li> <li>◆新たな産業をつくり育てる</li> <li>◆就業を支援し勤労者福祉を推進する</li> <li>◆川崎臨海部の機能を高める</li> <li>◆都市の拠点機能を整備する</li> <li>◆基幹的な交通体系を構築する</li> </ul>	<p>文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆川崎の魅力を育て発信する</li> <li>◆文化・芸術を振興し地域間交流を進める</li> <li>◆多摩川などの水辺空間を活かす</li> </ul>	<p>地域の自治活動、市民活動など市民自治を推進する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自治と協働のしくみをつくる</li> <li>◆市民と協働して地域課題を解決する</li> <li>◆市民満足度の高い行政サービスを提供する</li> </ul>	<p>その他の地域特性に応じた課題に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆幅広く様々な活動をつなぐ</li> </ul>
--	--	--	---	--	--	--	---

公募（2名）

「宮前区区民会議公募委員選考委員会」を設置し、委員を選考

- 1 委員構成 区役所職員
- 2 公募基準 応募資格、応募方法 等
- 3 選考基準 評価項目、評価点 等

区長推薦（7名）

性別、世代、地域バランスなど、様々な視点に配慮しながら選任

8つの活動分野を横断的につないでいく視点や、区の問題を総合的に捉えていく視点から選任



# 宮前区における地域の課題一覧

## 第1期宮前区区民会議での審議課題

- ◎…高齢者福祉に関して解決策が提案された課題
  - …子育て支援に関して解決策が提案された課題
  - ▲…地域コミュニティに関して解決策が提案された課題
  - ★…地域防災に関して解決策が提案された課題
- 新たに追加表記した課題
- …第1期区民会議で当初整理した課題以外の課題
  - ★…第2期区民会議委員から出された課題等

### 1 防災・地域交通 (34)

101 安全・安心

- D 安全・安心に関する情報の共有化 ★
- B 子どもの通学時における安全対策
- D 手動式信号の反応時間の改善
- C 通学路などの外周線の整備
- C 防犯灯の設置と改善
- C バイクや自転車による危険走行
- D 救急車の私的利用
- 地域の発着き ★
- 地域の防犯対策 ★

105 景観

- B 幹線道路沿道の景観整備 ★
- B 水空間の景観整備
- D 市境の景観整備
- B 河川中心の土地利用と鉄道中心の土地利用との調和
- B 公共施設等の案内板の整備 ★

106 住環境

- D 土地利用のあり方 ★
- D 開発等に伴うルールのあるあり方

107 道路

- C 菅生ヶ丘周辺の道路整備
- C ゆりかご通りの交通安全対策
- D 区役所前交差点への右折レーンの整備
- D 信号機への地名の表示
- D NEの跡地開発に伴う交通渋滞
- D 街路樹の成長に伴う歩道の整備

108 市境・区境

- 市境・区境における地域課題の解決方法

102 環境衛生

- C ペットの飼い主マナーの改善

103 地域交通

- C バス路線・ダイヤの整備
- C 通勤時のバスの定時性の確保や交通弱者が生活しにくい状況の改善
- B 高齢者のための区役所や公共施設などへのアクセス改善
- D 向ヶ丘遊園・菅生線の拡幅に伴う利便性の向上
- 放置自転車 ★

104 防災

- A ★地域の防災力の向上
- A ★二次災害防止等に向けた市民と行政の役割分担の明確化と連携
- D 集中降雨による排水不良などの都市型災害の回避
- D 幹線道路の緊急活動道路としての整備
- C 平瀬川上流水源域の開発による洪水対策

601 国際交流

- D 外国文化との交流

602 地域活性化

- C 地域間交流
- C 宮前区民気の充実 ★

603 魅力

- D 宮前区観光協会の設立
- B ▲歴史・文化を感じさせるまちづくり
- 区民参加型の文化事業が少ない

### 2 福祉・健康 (8)

201 福祉全般

- B 福祉サービス全般の充実
- C 福祉施設の充実
- A ◎身辺が相談機会の創出

202 高齢者福祉

- A ◎介護予防を支援する受け皿の充実 ★
- 地域ぐるみでの介護予防の活動が知られていない

203 障害者福祉

- B 障害者とその家族への支援

204 バリアフリー

- D 障害者・高齢者を含めたさまざまなバリアフリー化

205 医療

- C がん患者及びその家族をサポートする組織の整備 ★

### 3 子育て・教育 (11)

301 学校教育

- D 高い教育水準にある小・中学校に見合った中学校、高校の不足

302 子育て活動支援

- A ●子育て支援のあり方（組織・担い手・人材育成） ★

303 子育て活動拠点

- B ●既存子育て関連施設・青少年施設等の有効活用
- A ●子どもが健やかに成長する場の不足
- A ●親子が安心して居られる場所の不足

304 保育

- B 待機児童の解消（働く母親への支援）

305 地域で子育て

- C 地域の教育力の低下
- B 青少年の健全な育成
- B 子どもが自分の住むまちを知り、誇りを持てる機会の創出
- C 子ども達が地域でふれあう場づくり
- 児童虐待

### 4 自然・生活環境 (7)

401 環境全般

- C 環境にやさしいまちづくり ★

402 地域環境

- ▲広域幹線道路沿道の騒音・排気ガス等の大気汚染の改善

403 地域環境

- B タバコごみやごみのポイ捨て等の防止
- 404 緑
- B 緑の保全の創出
- B 水・緑等を活かした景観づくり

405 公園

- C ▲利用者の視点に立った公園の有効活用 ★
- 公園が汚くて使いづらい ★

### 5 産業・まちの活力 (10)

501 広域交通

- D 鉄道網の整備
- D 都市計画道路の未整備地域での渋滞解消

502 土地利用

- C 土地利用のあり方 ★
- B 市の未利用地の活用
- D ITの進展等による住宅、職場、商業地域などが滞在となった土地利用
- ★都市農業の活性化

503 まちの活力

- D 宮前平野周辺のまちの活性化 ★
- C 鷺沼駅周辺の活性化による区のシンボルゾーン化
- B 住民の縁のつながりや地域への愛着心の醸成
- ★商店街の活性化

### 6 文化・観光 (7)

604 文化・芸術

- 区民参加型の文化事業が少ない

### 7 地域組織・まちづくり (13)

701 行政サービス

- D 効率的・効果的な行政サービスの提供
- D 財政事情の改善
- D 区役所駐車場対策
- D わかりやすい区役所業務の案内
- D 利用しやすい区役所庁舎の整備
- D 区役所・市民館のイメージアップ

702 コミュニティ

- B 町内会・自治会の活性化
- C ▲地域コミュニティの再構築
- B ▲地域特性を活かしたコミュニティの掛けつくり

703 市民参加

- B 市民参加のシステム構築
- D 区民会議のあり方

704 施設の有効活用

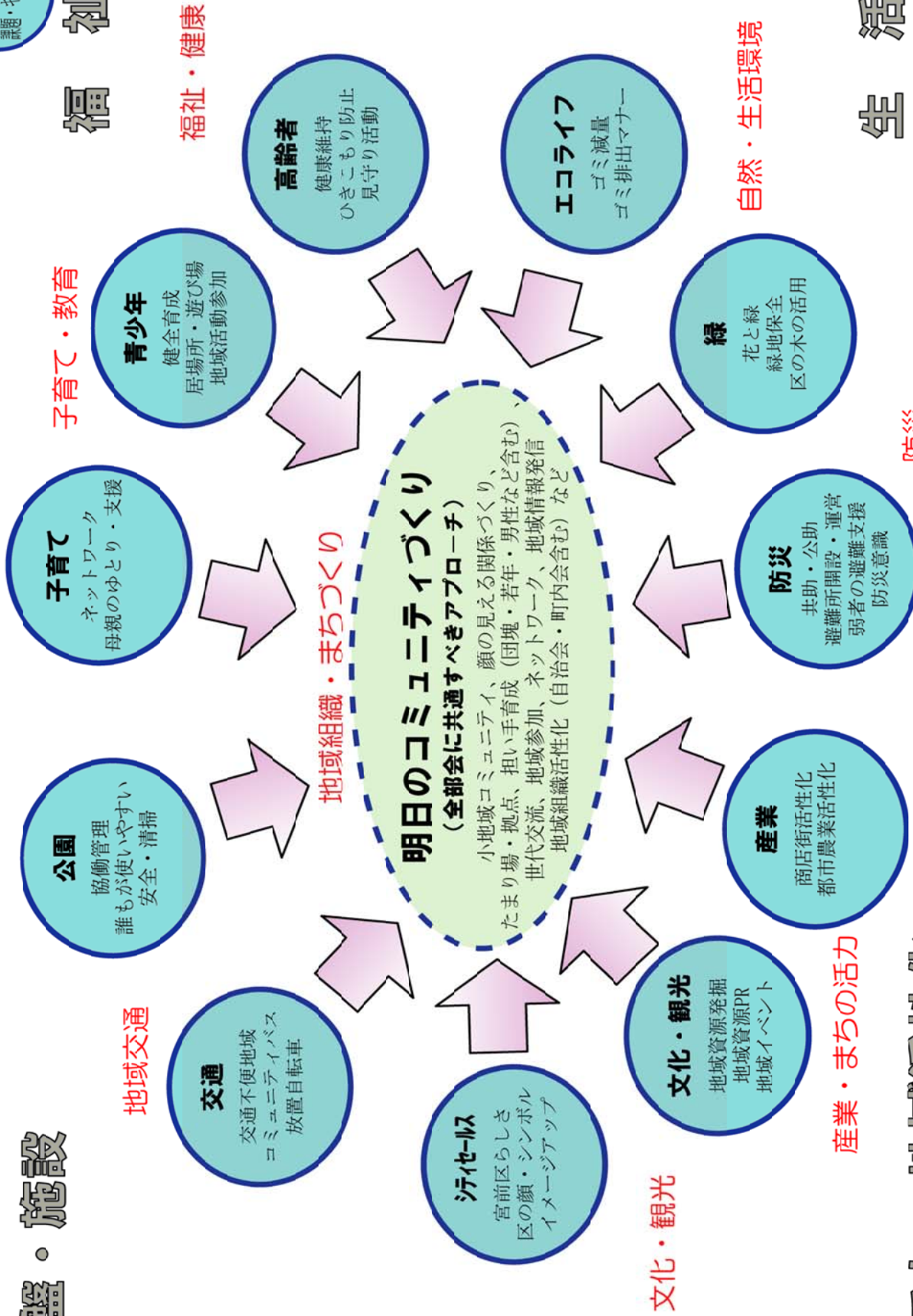
- B 地域ニーズに応じた施設の有効活用

705 市民活動支援

- B 効果的な地域情報の発信

第2期宮前区民会議 審議課題の絞り込み (事前打合せ会での委員の発言・ラベルより)  
 平成20年5月12日(月) 18:00~20:20 宮前区役所 集団教育ホール

都市基盤・施設



テーマ  
課題・キーワード等

福祉

生活

まちおこし・地域活性化

※事前打合せ会での委員の意見・ラベルのみをまとめたもの(地域課題は他にもたくさんある)  
 ※部会の立上げ方に対する第1期の反省意見:「テーマではできるだけ絞りこむ」「年間2テーマぐらいが適当」「テーマによっては継続審議も必要」「より広範な課題抽出」「より地域密着」など

# 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 議論のまとめ

## 目指すべき方向性

公園を地域コミュニティの場として活用していく

## 全体会での意見など

- ・公園がコミュニティの拠点になることで、公園に愛着が生まれ、管理が行き届く。
- ・コミュニティの場としての公園には、コーディネーターの存在が必要不可欠。
- ・宮前区の公園は7区でも多い方なので、これらの公園がいきまじした場になれば、区民の宝になる。
- ・子育てが終わった世代は公園に行かなくなり、楽しそうに企画があれば通りがかりでも参加できるのではないかと。
- ・冒険あそび場を実施できるようにするには、時間・空間・仲間の「サンマ」に続く4つ目の「間」である世間（地域社会）を受け入れられることが大切だ。

## 公園・地域に関する現状

- ◆ 地域コミュニティなどに関する現状と取組  
(公園を絡めた解決策を視野に入れて…)

第1期区民会議では、審議課題である高齢者支援や、子育て支援、地域防災などを効果的に行うには、顔の見える関係づくり（地域コミュニティ）が重要であると確認された。

- ◆ 公園そのものに関する現状と取組

区内には190の公園緑地がある。  
うち、街区公園：170 近隣公園：6 その他：14  
公園緑地：街路制に関する苦情が増している  
H12：714件→H18：1,065件

地域の公園は地域が主体となつて管理するのが、市の基本方針となっている。宮前区では129箇所地域による維持管理活動等が行われている。  
うち、公園緑地管理運営協議会：51 公園緑地愛護会：78

レクリエーション、憩いの場に加え、緑地、防災拠点など公園には多様な機能がある。

夏祭りや盆踊り等地域のイベント会場、ラジオ体操、健康体操の会場などとして使用されている。

一部の公園で、施設の老朽化や管理が十分でないケースが見られる。

誰でも使える「ア・ゾ・パ・ス」であるが、その利用方法は、立場や世代によって利害が対立する場面がある。

ゴミの不法投棄、犬や猫の糞など、一部に、マナーの悪い利用者がいる。

## 理想とする公園像

- ◆ 望ましい施設  
トイ、ベンチ、看板、時計、砂場などがあげられたが、地域のニーズや実情によって異なる
- ◆ 維持管理・運営のあり方  
地域の多様な世代が、できる範囲で無理なく主体的に維持管理に関わっている
- ◆ 公園利用者たちが、自主的に公園の維持管理、ルールづくり、催し物の企画運営に関わることができる
- ◆ 地域での使われ方（コミュニティ面）  
普段から子どもからお年寄りまで、多世代の人が自由に利用しており、顔見知りの関係ができています
- 地域のお祭りやイベント会場としても使用され、地域の交流が図られている

## 解決すべき課題

- ◆ 維持管理について  
活動に関わる人が少ない。参加者の固定化・高齢化が見られる。  
公園緑地管理運営協議会が存在・役割とも地域にあまり知られていない。  
自主的な公園利用のルールをみんなまで話し合う組織としての公園緑地管理運営協議会の役割が内部の人にもあまり知られていない。
- ◆ 公園利用について  
公園の利用者に偏りがあり、特定の人が利用しない傾向がある。  
公園のコミュニティの価値に関する情報発信が不足している。  
利用者のマナーが良くない（ゴミ・たばこ・ペットなど）

## 具体的な課題解決策

- ◆ コミュニティのさつかけづくり  
～公園内に掲示板などを設置～

提案①：公園を知ってもらおう！  
～公園内に掲示板などを設置～  
● 活動内容をPRする掲示板の設置  
・ 日ごろの活動内容を恒常的に発信できるような掲示板を設置。  
・ 設置の申請ができる団体は、公園で地域コミュニティに資する活動を継続的に行っているとともに、地域の利害関係の調整や掲示板の管理・運営に責任を持ってあたれる団体に限定  
● 活動内容をPRするフレートの設置  
・ その他、公団体障や目玉保育など地域コミュニティの活性化に資する個別の活動を行なっている団体については、掲示板ではなく活動内容を記したアラスチックのフレートなどを制作し、フェンス等に掲示

- ◆ 公園の利用促進に向けて公園の魅力アピール  
提案②：「冒険あそび場」をひろめよう！

・ 「仮称宮前区冒険あそび場支援検討委員会」の設置し、「冒険あそび場」のルールや行政からの具体的な支援のあり方について検討  
・ 既存の実施団体に依頼して、実施を希望する地域団体に對して、出張「冒険あそび場」を実施し、「冒険あそび場」が体験できる機会を確保

提案③：もつと公園を楽しもう～宮前区公園月間の設定  
・ 毎年、4月と11月を「宮前区公園月間」として、イベントなどの開催を地域に呼びかけ  
・ 現在、毎月発行している「歳時記みやまえ」を毎月発行し、「みやまえ公園イベント情報」を毎月発行と同時に、宮前区地域ポータルサイト「みやまえはーたらう」でも公園でのイベント情報を発信

- ◆ 維持管理・運営の担い手・組織など

提案④：公園・緑地管理運営協議会活性化のための支援  
・ 協議会の代表者が集まる会議の場を活用し、その趣旨を継続して周知  
・ 公園管理者と協議のうえ、その趣旨・役割等を明示した看板を掲示  
・ 区民も協議会と積極的に関わってサポート

## 公園・地域づくりアンケートまとめ

## □実施方法

- ・アンケート票を用いた「まちづくり広場 みやまえ」（平成21年2月21日（土）開催）会場での配布・回収
- ・アンケート票を用いた郵送・ファックス・電子メールでの回収
- ・ホームページによる回答

□回答者 11名

## Q1 公園でこんなことをしたいな、出来たらいいなと思うことは何ですか？

## 【イベント・催事等】

- ・ ストリートライブ。子ども向けの音楽をぜひ！ダンスや空手など、夢を運ぶような楽しいものをぜひ！（多摩区・54歳）
- ・ 公園でお泊り（テント）（有馬・5歳）

## 【火気の使用】

- ・ たき火（3名：南平台・30歳代、有馬・30歳代、東有馬・30歳代）
  - ※火があると年代かかわらず色んな人が集えると思う。「危ないもの」と子どもを遠ざけるのではなく、体験することで危なさを知って欲しい。
  - ※こどもが育つ上で火も重要。火を管理するには大人が必要だが、責任をとれる大人がいれば焚き火をして煮炊きして一緒に食事をしたり焼き芋をしたり、火を囲んで食事をするとそこにいる人の絆も深まると思う。
- ・ バーベキュー（3名：有馬・5歳、有馬・30歳代、区内(地域不明)）
- ・ 落ち葉たき
- ・ 花火（東有馬・30歳代）

## 【水遊び・プール】

- ・ 泥遊び・水遊び（3名：南平台・30歳代、東有馬・30歳代、有馬・30歳代）
  - ※思い切り水遊び：大人からすると水がもったいないけど、子どもにとっては思いきり水で遊ぶのは大事なことです。
  - ※こどもがやりたくなることを禁止するのではなく、できるだけやれる場で公園はあってほしい。
- ・ 子どもプール（有馬・30歳代）

## 【ボール遊び・球技】

- ・ ボール遊び（3名：有馬・30歳代、南平台・30歳代）
  - ※子どもの野球、サッカーなども禁止すべきではない。大人のゴルフ練習なども、各自の責任のもとに行ってもよいはず。
  - ※子どもが自由に遊べるように：なるべく禁止事項がなくなればいいな。ボール遊び禁止の公園が多いですね。

## 【花・樹】

- ・ 花つみ・花畑（2名：区内(地域不明)、宮崎）
  - ※花壇の花つみについて？
- ・ 木登り（2名：宮崎、有馬・30歳代）
  - ※落下の危険性。自己責任。親の考え方（宮崎）

### 【欲しい施設】

- ・ トイレ (2名：宮崎、区内(地域不明)・70歳代)
- ・ ひみつ基地：反対意見。犯罪発生の可能性大 (宮崎)
- ・ ドッグラン (宮崎・34歳)
- ・ シーソー (区内(地域不明)・70歳代)
- ・ てつぼう (宮崎・34歳)

## Q2 公園にこんなことや、こんなものがあつたら良いなと思うものはありますか？

### 【情報発信の仕掛け】

- ・ 掲示板。もっと子どものために公園集会所を作っていただきたい。(区内(地域不明)・70歳代)

### 【遊具・遊び場】

- ・ 木製遊具 (南平台・30歳代)  
※管理の問題等難しいだろうが、昔のような遊具はいろんな遊び方ができて面白かった。
- ・ ツリーハウス、小さい子向けと大きい子向けの遊具、砂ではなく土 (有馬・30歳代)
- ・ プレーパーク (南平台・30歳代)  
※今も有馬ふるさと公園でやっているが、子どもが自由に遊べ、それを見守る大人がいる場。少しの危険がある場が子どもには必要だと思う。見ている大人がちゃんといれば。
- ・ 全面の芝生

### 【水遊び場・水辺】

- ・ 井戸・水遊び・プール (3名：宮崎大・34歳、南平台・30歳代、有馬・5歳)  
※水遊びするのにわいている水だったら気にせず遊ばせられる。
- ・ 自然観察ができるビオトープ (区内(地域不明))

### 【トイレ等便益機能】

- ・ トイレ (4名：有馬・30歳代、東有馬・30歳代、有馬・30歳代、区内(地域不明))  
※公衆トイレが少ないと思う。モラルが守られるか心配だが、きれいな自慢ができるトイレを目指すのも町おこしとしておもしろいのではないか。
- ・ 時計
- ・ あずまや・ログハウス (3名：宮崎・34歳、有馬・30歳代、東有馬・30歳代)
- ・ ゴミ箱 (有馬・30歳代)
- ・ 駐車スペース (有馬・30歳代)
- ・ 遊びの道具箱 (有馬・30歳代)
- ・ 広い広場 (自由に使える多目的スペース) (有馬・30歳代)

### 【その他】

- ・ 公園は子どもの公德心を養う場所でもあることを忘れないように。(宮崎)

## Q3 どうすれば、さまざまな区民がみんなで仲良く・楽しく使える公園になると思いますか？

### 【プレーリーダー等遊びを指導する人】

- ・ プレーリーダーのように親でも先生でもない大人、遊びを見守り、子どもの側に立って、同じ目線でいられる人がいると、子どももイキイキと遊べると思う。(南平台・30歳代)
- ・ 各年齢の子どもたちが安全に遊べるように、監視委員的な人がいると良い。小さい子が遊んでいる

時に、小学生がすべり台で追いかけっこをしていたりして、ぶつかっている時がある。(宮崎・34歳)

- ・ 出張プレーパーク (南平台・30歳代)

#### 【近隣や利用者間の理解とそのための情報交換の場】

- ・ スーパーからもらってきたダンボールで坂すべりしていたら、近所の住民から草が枯れる、公園が汚れるとクレームがあり、子どもがかわいそうでした。「どンドン遊べ」と言う住民がいい。(多摩区・54歳)
- ・ 危険だから、迷惑だからと何でも禁止してはいけない。自由に使う→その上で責任を持つようにしなければ。(有馬・30歳代)
- ・ 近所の人たちが集うような仕掛けがあればいいのかな？(有馬・30歳代)
- ・ 公園にみんなの声が聞けるポストをつくり、もっとみんなが利用できるような公園作りを目指す。また年令によって公園に求めるものが違うので、どう折り合うかが問題。異年令の人たちが交流出来る場や伝言板を作り、お互いの意見を尊重しながら公園を利用する工夫を見いだしていくようにする。(区内(地域不明))
- ・ 都会では公園をいろいろなように使いたい人がいるので、楽しく仲良くは難しいが…意見がある人はクレームではなく意見として言える場、使う人同士が話せる場があるといいのかな？相談窓口がクレームに反応して何もかも禁止ではなく意見をきく場、どう使っていくか考える場になるといいのかな？(有馬・30歳代)

#### 【利用者自身による維持・管理の仕組】

- ・ 使用する方が掃除用具を持参の上、遊んだ後きれいにすること。(区内(地域不明)・70歳代)
- ・ 自治会等に整備の権限を与え、助成金などを給付してみてはどうか？抜き打ち的に利用者のアンケートを分析し、正しく運営されているかリサーチし、まずければ従来通りのやり方、良ければ続ける方向にすれば、地域が活性化するのではないか？
- ・ ゴミを持ち帰る。ベンチの下にタバコの吸殻がよく落ちている。まずきれいに、気持ち良く使いたい。(東有馬・30歳代)

#### 【その他】

- ・ 火をたいて食べ物を作り、食べ、遊べるようなイベント(南平台・30歳代)
- ・ 公園でお祭り(有馬・5歳)

# 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～ 部会 議論のまとめ

## 目指すべき方向性

地域みんなんで共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る。

## 全体会での意見など

- ・ときめき再発見はいい名前だ。宝が活用されないとときめかない。
- ・地域を高める。観光地として、住まいとしての価値を高める。宮前区には知られていない宝がまだまだある。
- ・新しいものを採すことも重要だが、あるものを利用することで新しいものを作ることも必要。
- ・宮前区がとんかつアピールするものがない。
- ・宮前区は縁がたくさんあって、きれいなまちのイメージである。いいまちだと多くの人が思えるようにしたい。

- ・「やってみたい」がたくさん出てくると良い。
- ・中学校区単位くらいで、地域のみんなで宝物を探してもらえような動きにしたい。
- ・身近な地域での宝と区全体の宝の2本立てで考えられたらいいと思う。

## 宮前区の宝・顔に関する現状と取組

- ◆ 地域資源（宝もの）に関する現状
  - 歴史文化・自然・活動・都市農業など多くの魅力的な資源はあるが、区民にあまり知られていない。
  - 区内の資源を総括的にまとめたりわかりやすい資料が無い。
  - 観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を始めた。
  - 目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などがある。
- ◆ 宮前区に対する内外のイメージ
  - 自然豊かで閑静な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある。
  - 区のイメージで「とくにない」の回答した区民の割合が市内16区で最も多い（H19、市民1万人アンケート）。
  - 「宮前区ってどんなまち？」と聞かれて、答えられないのや、共通のイメージが無いのではない。
- ◆ その他 宮前区をめぐる現状
  - 宮前地区と向丘地区は、東名高速道路が縦断その頃となっていた。
  - 一宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っている？
  - 元々、田園都市線沿線を中心に、良好な住宅地として開発されてきた経緯がある。
  - メディア等の露出が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心である。

## 宝や顔があるまちのイメージ

- ◆ 区民一人ひとりにとって・・・
  - 自分の住んでいるまちについて、区外の人に紹介することができる
  - 地域に愛着を持っている（終の棲家とする）
  - 地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている
- ◆ 地域社会にとって・・・
  - 地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成され、地域の課題も地域が主体となって解決にあっている

## 解決すべき課題

- 区「宝」「顔」となりうる様々な資源を区内で共有し、区外には広くPRする必要がある。
- PRを効果的に行うためには、資源の特徴をよく掴む必要がある。

【課題解決策に向けた検討手法】

現状を把握のイメージ

- 資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス
- 宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

## 具体的な課題解決策

- ◆ 地域で資源を発掘し、宝・顔にまで押し上げる
- ◆ 提案：宮前区のカルタをつくろう！

【趣旨・目的】  
幅広い世代が参加して地域の「資源」を探し出し、「宝」・「顔」へと押し上げていく過程を通じて、地域への愛着を深め、地域コミュニティの活性化を目指す。

【実施内容】  
■ みやまエカルタの制作  
・平成24年度の区政30周年に向け、「**創らるるるるカルタ**」をモデルに区政30周年記念みやまエカルタと8つの中学校区ごとの地区別カルタを2年かけて地域主体により制作  
・区政30周年記念みやまエカルタは、地区別カルタから選抜して制作  
・カルタの制作にあたっては、「まち歩き」や地域のワークショップを実施するなどそのプロセスを重視  
■ みやまエカルタの活用  
・地域を知り愛着を深めるツールとして、制作されたみやまエカルタの地域版・全区域版とも各種イベントや教育現場で積極的に活用

【実施主体と役割】  
■ みやまエカルタ制作実行委員会の設立  
・カルタ作りの基本的方針を策定  
・中学校区ごとの部会を設け、そこで地区別のカルタを制作  
・地区別カルタの制作状況の進捗管理・内容調整  
・地区別カルタの制作過程やその成果を知ってもらうための発表イベントを開催  
■ 各小学校教育の取組  
・地区別のカルタから選ばれる全区体のカルタの選考  
・総合的な学習の「まち探検」の時間を活用し、小学校区単位で手製のカルタ作りを行ってもらうことを、実行委員会から依頼  
・制作されたカルタは実行委員会に提出してもらい、地区別カルタの制作に活用  
・各小学校に対しては、実行委員会から講師の派遣や地域資源を紹介

## 宮前区の宝さがしアンケートまとめ

## □実施方法

- ・ アンケート表を用いた「まちづくり広場 みやまえ」（平成 21 年 2 月 21 日（土）開催会場での配布・回収
- ・ アンケート票を用いた郵送・ファックス・Eメールでの回収
- ・ ホームページによる回答

## □回答者 7 名（複数回答あり）

推薦するもの	場所・季節など	推薦理由	推薦者	回答種別
平瀬川	森林公園～菅緑地の間	私たちの町を流れる川。子どもたちと一緒に川に沿って歩くと色々な発見があり、よく歩いています。特に途中にあるとんぼり谷戸は四季を通じて、子どもと過ごす中で自然のありがたみを感じます。	30代女性	まちづくり広場参加者
小台公園	春	土もあって、のんびり遊べる公園。桜の季節とってもキレイ	30代女性	まちづくり広場参加者
東高根森林公園	神木本町	紫陽花の群生する石段が絵になります。湿生植物の木道がとても心地よく散策にもってこいです。登りきったところで、芝生の広場、広々とした芝生と青空、森林浴にもってこいです。	60代女性	FAX
森林公園	オールシーズン	自然の中でのんびりとできる。子ども連れでも、大人でも。	60代男性	まちづくり広場参加者
森林公園 シラカシ		緑を大事にしていく必要がある。これ以上少なくならないように。	?代女性	まちづくり広場参加者
宮前区の公園	有馬ふるさと公園、宮崎第4公園、宮崎第1公園、有馬中央公園、菅生緑地など・・	自然の地形が活かされていて、木が茂っていて、自然が豊富。特に有馬ふるさと公園。森のようなふるさと公園では、どんぐり、落ち葉、のいちご、斜面、いろいろな自然でこどもが自由な発想で遊ぶことができる！ 平らな広場につくられた遊具、炎天下だと暑い！という都会の良くある公園とは違う！！	30代女性	メール
プレーパーク 有馬ふるさと公園		自分の責任で遊ぶということをモットーにこどもの遊びについて考えるコミュニティーとその場をつくらうとするグループポレポレが運営するプレーパーク そこにはおおらかな大人が多く、子どもたちも目を輝かせて遊んでいる	30代女性	メール



推薦するもの	場所・季節など	推薦理由	推薦者	回答種別
自主保育	宮前区内の公園等	川崎市内で今や幼稚園、保育園と並んで、選択肢のひとつとなっている自主保育。特に宮前区から広がっていることもあり、盛んです。 宮前区には自然が残る公園が多数あるのも、子どもが過ごす場として適していると思います。	30代女性	まちづくり広場参加者
自主保育グループ そのネットワーク ちいくれん	有馬ふるさと公園 宮崎第4公園 小台公園など	有馬ふるさと公園、宮崎第4公園、小台公園などで活動している自主保育 B.B.だんやくるみの木、自主保育の連絡会、ちいくれん。親が交代でこどもを保育し、こどもと一緒にすごしながら、自分たちの責任で子どもを見守っている自主保育グループ。 ちいくれんはこどもはいかにしていきたいか、遊びの中でこどもは育つなどのテーマで講座をひらき、地域のお母さんたちも一緒にこどもについて考える機会もつくっている	30代女性	メール
赤ちゃん広場・カンガルー通信 カンガルーねっと		出会いのきっかけをつくって、みんながつながって子育てをするあたたかい空気を宮前区に流すことに一役かかっているグループ。赤ちゃん広場に参加したことで友達ができ、出会いがあったからこそ子育てを楽しんでいる人、通信を読んで情報をえて、地域のグループにつながった人が宮前区には多くいると思う。 私も赤ちゃん広場があったおかげで、地域に知り合いができ、カンガルーの情報がきっかけで行政や地域、市民活動とのつながりができ、充実した毎日をおくれています。	30代女性	メール
宮崎町内会盆踊り	7月最終金・土宮崎第2公園	やぐらを組み、子どもたちも盆踊りのために太鼓をたたきます。3年生まではバケツ隊ですが、4年生からデビューできます。練習を重ね、指導には中学生や高校生も参加し、地元の電灯をつなげてくれていると思います。	40代女性	FAX
聖マリアンナ医大		地域の中核医療機関として、子どもの出産でもお世話になりました。	60代男性	まちづくり広場参加者

## 第2期宮前区区民会議の総括に向けた委員意見一覧

## 1 地域課題の把握方法

第1期から引き継いだ159課題（地域の活動や区役所の日常業務を通じて把握）に、第2期の委員の意見も加え、平成20年度の最初の勉強会においてワークショップ形式で整理を行い10の分野に分類しました。

良かった点	改善すべき点（3期への課題）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な分野にわたる159もの課題の中からテーマを選び出すのは大変な作業に思えるが、多様な市民それぞれの課題が見えてきて良い。</li> <li>● 第2期は、10の分野分けにより区内の課題の範囲と種類が俯瞰でき、委員の共通理解を促進させた。課題を整理してから、その年度に取り組む事を決めるのは良かった。</li> <li>● 自分が関わる活動から見えている問題は理解しているが、宮前区全体となると把握していないこともたくさんあり、課題分類がまとめてある中から整理がすることで時間が短縮でき良かった。</li> <li>● 短時間で全委員のコンセンサスが得られた。</li> <li>● テーマを選ぶときの参考となり、まとめ方としては良かった。</li> <li>● 解決すべき課題がまだ多くあることをあらためて認識しなおした。</li> <li>● 第1期委員のリード的発言が良かった。</li> <li>● 企画課で作成した資料は、良くできていたと思う。1期からの委員がさらに詳しく説明を加えてくれ、理解が深められた。</li> <li>● 第1期提案を深化させる意味で、着眼点および施策方針は評価したい。</li> <li>● 総花的な多くの課題を10分野に整理して討議したのは良かった。</li> <li>● 地域コミュニティづくりに「公園」を主体に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 把握方法として、自治会や諸団体へのアンケート（ヒアリング）を再度取った方が良かったかもしれない。</li> <li>● 課題は地域によっても差があるので、各地域の町内会などの問題点をアンケートしたり、調査したりして、地域別の課題の情報が欲しい。</li> <li>● 分野別の課題は多いが、地区別の課題は少ないように思う。各地区からの課題吸い上げの方策が必要かと。</li> <li>● 全体の課題をまとめる資料を作成する前に、各委員に連絡を行い、補足として何かないか意見を聞き反映できるとより良いものになる。</li> <li>● 課題への理解度が委員により違うので、事前にアンケートを取るとか資料を配布するなどして理解を深めておく必要がある。</li> <li>● 159もの課題から取り上げるべきテーマを選び出すのは難しい。個別の要望や苦情を区民共通の課題に翻訳する作業や、関連付け、優先順位付けの作業に、もう少し時間を掛けて丁寧にやれないだろうか。</li> <li>● 課題を決めるのにもっと時間をとってじっくり話し合いをしたかった（委員意見が十分に出されていない気が）。</li> <li>● 第1期で分類した10の分野の課題出しを検討することも大事ですが、こだわり過ぎず、実際の現場での現状から遠のくような</li> </ul>

## 第2期宮前区区民会議の総括に向けた委員意見一覧

良かった点	改善すべき点（3期への課題）
<p>審議していく捉え方は良かった。</p>	<p>議論、課題出しにならないよう、柔軟な課題出しを期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事前に区の事業や、区民会議への知識などもないものにとっては、課題が多岐にわたっていたので、圧倒される思いだった。</li> <li>● 第1期委員に対して遠慮がなかったか。</li> <li>● 区民と区民会議委員の認識にギャップがある。</li> <li>● 区民会議の認知度を高めなければ課題解決は難しい。</li> <li>● さらに焦点を絞り込んで具体的行動方針を討議できるようにしていきたい。</li> <li>● 区だけで解決できない事かもしれないが、1期2期ともに、インフラに関する課題（自然・交通等）は、なかなか手をつけにくい課題として残っている。しかし、区と市や県とのすみわけをしながら、どうやって解決するかを考えないと根本的な解決はできない。</li> </ul>

## 2 審議対象課題の優先順位付け、分野、規模、課題の数など

共通大テーマとして、「明日のコミュニティづくり」を掲げました。中核テーマとして「公園」「地域資源」の二つを選び、他の課題も視野にいれながら、地域課題に対して分野横断的・複合的なアプローチを図りました。

良かった点	改善すべき点（3期への課題）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● テーマを絞ったことでどのような手法やどのような団体に働き掛けて言ったらよいかなど具体的に議論でき、実現可能なレベルにまとめ提案できたことは良かった。</li> <li>● 1期提案を受け、十分な話し合いのもと問題解決していくための道筋として、コミュニ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後どうやって区民を巻き込んでいくかが鍵。</li> <li>● 今後は地域住民、利用団体が共通意識を持てるよう進めていく事が必要。</li> <li>● 他の課題も視野に入れ議論を行ってきたが、提案をして終わりではなく、最後の全体会</li> </ul>

## 第2期宮前区区民会議の総括に向けた委員意見一覧

良かった点	改善すべき点（3期への課題）
<p>ティづくりが重要だと委員全体で支持され、そのために、課題を細分化するのではなく、大きく2つに分けたことは良かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「コミュニティ」という漠然としたテーマを子育て・健康・緑・産業・文化など分野横断的に連携付ける視点を確保できたのは良かった。具体的なテーマとして「公園」「地域資源」を選んだのは適切。</li> <li>● テーマの絞り込みは良かったと思います。また2つに絞ったことで、違う側面から、「コミュニティづくり」について議論討論できた。</li> <li>● 地域の一体感、連帯感の向上のため「公園」「地域資源」を取り上げたのは非常に良かった。</li> <li>● 2件のテーマを重点的に掘り下げて審議できた点は評価できる。</li> <li>● 前期から大テーマをベースに抽出したことにより、円滑に設定できた。</li> <li>● 結論を急がず、2年かけてテーマをじっくり検討できたことは問題点を浮き上がらせ、次のステップに活きる。</li> <li>● 世代間交流の場として公園を課題解決の場としたことはよかった。</li> <li>● その場限りでなく根本的なところから築き上げていこうとしているところが良い。</li> </ul>	<p>で、初回に出た159課題の中で取り残した課題は何かまた課題の重要性として変化が見られたものはなかったかなど整理する機会があると良かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第1期でやり残した「コミュニティ」という大きなテーマに挑戦したが、何でもコミュニティの問題にしてしまうわけにはいかない。宮前区に特化した地域課題が見えにくくなるかもしれない。宮前区独特の地域課題は何かという虫の目で見える視点も今後は必要かもしれない。</li> <li>● 1年半～2年掛けて審議して来たが、進捗状況を広くアピールできたかが疑問。</li> <li>● 比較的小さな課題に対して、もう少し検討時間が必要だった。</li> <li>● 総花的取組では、結果として実質的解決策はでてこない。第1期2期の提案を発展させ深化してほしい。</li> <li>● 初期段階のため不慣れな点もあり、進行状況が良くなかったかもしれない。</li> </ul>

## 第2期宮前区区民会議の総括に向けた委員意見一覧

### 3 区民会議(全体会)の会議運営

おおよそ3ヶ月に1回、全体会を開催し、専門部会の進捗状況の他、第1期の提案への取組状況、宮前区の協働推進事業等について、審議しました。

良かった点	改善すべき点（3期への課題）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体会議の回数としては概ねこの間隔で良い。</li> <li>● 3ヶ月に1度の全体会に合わせて専門部会で活動するのが、無理なく丁度良かった。今後も各地域で全体会が開催される事を望む。</li> <li>● 3か月に1回の頻度で良かった。また区役所だけではなく、会場を3か所で行ったことも良かった。このような試みは続けて行く方が良い。</li> <li>● 委員長ならびに企画部会の方々の会議運営がとても上手で、毎回スムーズに行われた。</li> <li>● 永野委員長の良きリードで全体会の進行が行われ、次回の部会につながった。</li> <li>● 密度ある調査審議は専門部会で行っており、その全体的な流れを全体会で検証するという枠組みは非常に良い。また前期の取組状況の報告とそれに対する意見交換が出来ていることは良かった。</li> <li>● 前期同様、全委員からの発言を求めたことは良かった。また女性委員の活発な意見は貴重だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● なかなか思うようなタイミングで、的確に意見を言うことができなかった。より大勢の委員が発言できるような工夫が必要。</li> <li>● 会議での発言がもう少し活発であってほしい。特定の方が話している時もありもっと意見を言って欲しかった。</li> <li>● 第1期のときのように、部会長発表後にその部会委員にも一人ずつ意見を求めた方が良い。発表に幅が出てわかりやすくなる。全委員の意見を引き出せれば。</li> <li>● 限られた時間で議論が深まりにくい、まとめるということではなく、より多くの委員から発言してもらって、次の専門部会に反映して行く事を大切にしてほしい。</li> <li>● 協働推進事業については、行政の説明を聞くことで終わってしまっている。議論をする場を設ける必要がある。</li> <li>● 毎回参与の参加が少なかったのは残念である。交代でご意見をいただける時間をとれないか。</li> <li>● 各会議の合意事項がわかりにくい。まとめ事項を全員で確認しては。</li> <li>● 団体代表がややもすれば所属団体の利益代表のように感じることも。また、参与の発言をもっと求めたい。</li> </ul>

## 第2期宮前区区民会議の総括に向けた委員意見一覧

### 4 専門部会の会議運営

2つの専門部会を設置し、先進事例や区内の現状調査なども踏まえながら、任期の2年間をかけてじっくり検討を行いました。

良かった点	改善すべき点（3期への課題）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最初の1年間は、先進事例の報告も受け、現状資料の調査なども行うことができた。後半の1年間は、単に解決策の提案だけでなく、その取組の具体的な方法・手順まで考察でき非常に良かった。</li> <li>● はじめは進行の遅さにこれで良いのだろうか？いったいどこまで（提案として）議論したら良いのかつかめず迷うところがあったが、結果的には時間をかけたことで具体的な提案ができ良かった。</li> <li>● 2期では、専門部会が2つだったので、所属する人数が多く、色々な分野の委員が意見を出し、じっくり時間をかけて討議できて良かった。</li> <li>● じっくり検討できて良かった。</li> <li>● 1期に比べ時間をかけたので、じっくり議論が出来た。少人数による部会形式は意見を出しやすく良かった。</li> <li>● 自由かつ活発な意見交換ができ大変良かった。</li> <li>● 問題点をしっかりと把握できた点はよかった。</li> <li>● 公園の利用状況やそこで活動している人、団体など今まで知らなかった現状を把握でき、大変参考になった。</li> <li>● 他の先進事例が参考になり非常によい。</li> <li>● 各会議の終わりにまとめの努力があり評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1か月経過すると前回の議論内容が曖昧になっていたり、決まっていたことが決定事項でないなど、それぞれに認識の差があり、戸惑うことがあった。1回1回きちんと議論内容をまとめ確認して終了することが必要だった。</li> <li>● もっとしっかりまとめを全員で確認してはどうか。</li> <li>● このように、じっくり話しあえる時間があると良い。また、専門部会の機動力を活かし、場合によっては委員だけでなく、必要な方を迎えての意見交換や、見学会、などを行い、議論を深めていければ良い。</li> <li>● 調査については、見学会など実際に現場へ出での調査・審議があっても良いかもしれない。</li> <li>● 区民との接点を深める意味で、現地調査を増やしてはどうか。</li> <li>● 事例の検証等、もっと実際の団体等へのヒアリングなどで問題点を把握する必要があったかもしれない。学校長などへの説明、考えをもっと聞いてもよかった。</li> <li>● 区長への提案だけに終わることなく、実現性のある解決方策と、区民自身も参加できる取組の方策・手順を考える提案書づくりを継続してほしい。</li> <li>● 1期に比べ専門部会がコーディネーター中心で部会を自分たちでおこなっているような気がしなかった。</li> </ul>

## 第2期宮前区区民会議の総括に向けた委員意見一覧

良かった点	改善すべき点（3期への課題）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 審議事項に関して委員一人ひとりが現状調査、事例調査など細かく行い非常に良かった。</li> <li>● 公園部会の年齢構成が幅広く30代の若い人の力が発揮してもらえた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 欠席された委員の意見が反映される方法を検討しては。</li> </ul>

## 5 区民会議から提案された課題解決策の取組と進行管理

課題解決策について、実行主体やスケジュールなど、具体的な検討を進め、より実現性の高い提案づくりを心がけました。第1期の取組に対しては全体会で毎回、進捗状況の報告・意見交換を行いました。

良かった点	改善すべき点（3期への課題）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区民会議での発案との区別を途中から取り入れ、進捗を説明できた点は評価できる。</li> <li>● 区民会議が提案した取組の進捗状況の報告が定着したことは、いつまでに、見える形にするという意味で良い。</li> <li>● 解決策の実行が前期委員の懸念であったが、ほぼ予定通り進捗していることが理解できた。</li> <li>● 全体会のたびに、取組の進行状況の説明があることは良い。評価・見直しの議論が出来るともっと良い。</li> <li>● 区民と行政が一緒になり課題を解決していく、区民協働の取組が行われ区民として心強く思っている。</li> <li>● 解決すべき課題を各人及びグループ全員が把握して毎回忌憚のない意見を出しあい、問題解決のため進めた点が評価できる。</li> <li>● はじめは具体的になにをすれば良いか不安があったが、じっくり話し合っていくことで、次第により良いまちづくりを夢として語り合うのは楽しい作業になっていった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第1期提案について、実際に取組を行っている側が、区民会議からの提案だと意識していない事が多い。むしろ、自分達が自主的に行っている活動を行政主導の成果として書かれたとして憤慨している活動グループもいる。第1期提案への取組を、行政側だけでなく区民の活動についても報告する形式になっているが、認識が不明確であることと、地域の活動を行政側が取りまとめるところに、「勝手に成果にされる」意識がでてくるのでは。</li> <li>● 誰がどんな情報をもとに記載するのか、明白にした方が良い。記載した事については、活動する側（特に地域の自主活動団体、グループ）へ、区民会議からの提案に係る取組であるという事を伝える事が重要では。</li> <li>● 取組の評価・見直しの議論が足りない。行政がやること、区民がやることに分けてしまうのではなく、区民と行政がキャッチボールしながら進めて行けるように、協働のありかたを意識した見直し作業が出来ると良</li> </ul>

## 第2期宮前区区民会議の総括に向けた委員意見一覧

良かった点	改善すべき点（3期への課題）
<p>その中で、実現可能な提案が作れたことをうれしく思う。</p>	<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 進捗がハッキリしているものは問題ないと思うが、分かりづらいものもあった。</li> <li>● 第1期の取組に対し第1期の専門部会を開き、進捗状況の意見交換が必要。（課題が区役所に1度出してから微妙にずれている気がする）。</li> <li>● 全体的にはバラバラに取り組んでいるようで、面的整合性について一工夫を要するのでは。</li> </ul>

## 6 その他

その他、区民会議に参加を通じて感じたこと(制度全般、地域のこと)など。

良かった点	改善すべき点（3期への課題）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区民会議での取組の結果が事業化され、委員として活動の励みになる。</li> <li>● 協働推進事業に区民会議の提言内容が盛り込まれるようになり、やりがいと責任を感じるようになった。</li> <li>● 区民会議を通じ話し合った内容が協働推進事業に取り上げられたこと。</li> <li>● 自分が活動していることに関してはある程度知識があったつもりだったが、他の分野では、自分の活動範囲以外の問題点・活動・歴史など知らないことがたくさんあった。委員になって、見聞とネットワークが広がり、ますます、自分の住む宮前区が好きになった。個人的には委員になって良かったと思う。</li> <li>● 宮前区にこどもの頃から住んでいるが、知らないことが（課題や地域性、行政の取組な</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企画部会や事務局任せてばかりではなく、どこまで提案して行くのが良いのか早い段階で（途中途中ではありましたが）部会ごとに話し合い、何回目にはどのような内容まで議論を行うか目標を立てる方がもっと効率よく進行して行けたのでは。また新規委員には、はじめに取組方法や進行管理の在り方を含め勉強会がある方がスムーズに参加できる。</li> <li>● 新しく委員になる人のために、最初の会議において、全体のスケジュールの決めて欲しい。また具体的に何をしたら良いか説明をして欲しい。</li> <li>● 提案事項にどれだけ予算がつくか、実行部隊が現実的に可能かなどがわからないなかで、提案を検討するのが難しかった。</li> <li>● 1期とは全く違う課題だったので、1期の取組に関する意見交換が不十分になっている</li> </ul>



## 第2期宮前区区民会議の総括に向けた委員意見一覧

良かった点	改善すべき点（3期への課題）
<p>ど) 多く勉強になった。また普段の生活では関わる機会がない世代や団体の方々と話をする機会が持てて良かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 委員構成が各分野からバランス良く出ているのが良かった。普段関わりの少なかった分野の方々の活動が良く分かり、感心させられることが多くあって良かった。</li> <li>● 実際の取組を想定した場合に、動員力のある団体推薦枠の比率が高いのが良い。</li> <li>● 出張区民会議はよかったと思う。</li> <li>● 会議開始時間が18時からで、駐車場も含め出席しやすくなった。</li> <li>● 半数程度が再任であり、落ち着いた雰囲気が進められた。</li> </ul>	<p>気がした。時間配分の配慮が必要と思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 区民会議の活動をもっとPRし知名度を上げる事を考えたい。知名度向上により区民の監視の目がきつくなるが、委員としてより一層やる気と責任が生まれる。</li> <li>● 区民会議の知名度はまだほとんどない。もっとアピールして、区民意見が区民会議に反映されるようになれば。</li> <li>● 20名の提案が217,000人の区民の多くの方に理解と協力を得るには、自治基本条例のための区民会議になっては意味がない。</li> <li>● より分かりやすく身近に感じられる取組や広報を。</li> <li>● 「カルタづくり」、「冒険遊び場づくり」が、区民会議を周知させ、区民を参加したがるような場にする鍵。この2つの取組が盛りあがれば自然と区民会議の認知度もあがり、第3期の区民会議も知ってもらうことにつながっていき、結果、区民の問題解決の場としての区民会議の地位が築ける。</li> <li>● 所属している団体に傍聴に来てもらい、区民会議がどんな活動をしているか直接知ってもらうなど努力を。</li> <li>● 区民会議フォーラムの内容を工夫し、もっと区民の多くが参加できたら。</li> <li>● 区民会議の提案をいかに区民の取組へつなげて行くか、市民活動団体への橋渡しの方策が今後必要。</li> <li>● 取組の進め方について、各種団体を横へつなぎ、かつ行政とキャッチボールをしながら進めて行く方法を議論する円卓会議の場を定期的に開くことが必要。</li> <li>● 町内会・自治会等、地域に密着した組織との</li> </ul>

## 第2期宮前区区民会議の総括に向けた委員意見一覧

良かった点	改善すべき点（3期への課題）
	<p>連携を図り、提言を活かし真に宮前区のまちづくりに資する方法を検討する必要があるのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て中のお母さんが参加しやすい環境づくり。</li> <li>● 自分達の問題は、自分達で解決するという市民自治の精神を实践できる場として区民会議がある。固定的な組織の委員に収まらず、いろんな人を巻き込み、名実ともに地域の問題は区民会議で話し合い、行政と協働しながら解決していく仕組みができると良い。</li> <li>● 区の課題でありながら、局管轄の取組事業であると提案しづらい。区への分権を進めてほしい。</li> <li>● テーマを絞った点は評価したいが、掘り下げが充分だったかは疑問。委員が直接手がけられる事も重要かと。</li> <li>● テーマを絞った事で、置いて来てしまった問題(課題)も。</li> <li>● 地域コミュニティの進め方としてのテーマは今後も継続してほしい。</li> <li>● 区民の自主的な取組が少ないと痛感。</li> </ul>

## 第2期宮前区区民会議総括報告書

平成22年3月

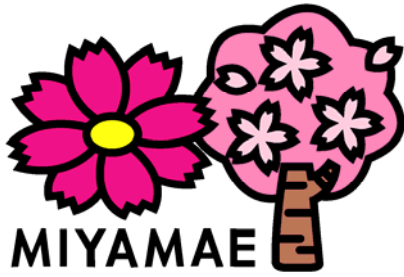
発行：宮前区区民会議/宮前区役所  
(宮前区役所企画課)

〒216-8570

川崎市宮前区宮前平2-20-5

電話：044(856)3136/FAX：044(856)3119

ときめき咲くまち宮前区



MIYAMAE